

星ふるさと阿智村

まち・ひと・しごと創生総合戦略

# 人口ビジョン

第2期計画  
令和2年～6年  
長野県阿智村

「日本一の星空と花桃といで湯の郷」





## 村長あいさつ

「阿智家族」の想い

星ふるさと 阿智村 ～日本一の星空と花桃といで湯の郷～



この度、第2期目の「阿智村版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。平成27年度から5年間、第1期の目標を立て、取り組んで参りました。

又、当村では、第6次基本構想の中で定住を柱とし、村の理念を「阿智家族」、定住プロモーションビデオの作成や、県主催の定住フェアに積極的に参加、東京のふるさと回帰センターの登録、補助金の充実、農業と連携した空家対策、そして南信州広域連合での広域的な取組の提唱も、積極的にして参りました。

そんな中で、なんとか村の人口維持、持続的な発展のために、昨年度より地区懇談会、計画審議会等意見を聞きながら、第2期の目標として、25年後にあたる2045年の人口目標を、4,300人に変更させて頂くことにしました。この目標を達成するためには出生率1.7、年間移住者数69人が目安となります。

今回の計画は、第6次基本構想を基に、「しごと」「ひとのながれ」「結婚子育ての切れ目ない支援」「まちづくり」の基本目標を中心に施策検討と、KPI（評価指標）を設定しました。又、SDGsの持続可能な地域開発の精神も取り入れさせて頂いています。これらの計画を毎年の事業計画に反映していきますし、全ての政策が人口増または維持につながるよう村民一丸となって取り組んでいきたいと考えます。

おわりに、自治会、各種団体をはじめ、慎重な審議を賜りました計画審議会、議会の皆様に心から感謝し、御礼申し上げます。

令和2年3月

阿智村長 熊谷秀樹

まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略（第2期計画）

# 〈目 次〉

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 第Ⅰ部 人口ビジョン.....              | 1  |
| 第1章 策定にあたって.....             | 2  |
| 第2章 人口の現状.....               | 3  |
| 1. 人口推移と見通し.....             | 3  |
| (1) 総人口.....                 | 3  |
| (2) 年齢3階層別人口.....            | 4  |
| (3) 人口の減少段階の分析.....          | 4  |
| 2. 自然動態と社会動態.....            | 5  |
| (1) 総数.....                  | 5  |
| (2) 自然動態.....                | 5  |
| (3) 出生数と出生率.....             | 6  |
| (4) 未婚率.....                 | 7  |
| (5) 社会動態.....                | 8  |
| (6) 年齢別移動状況.....             | 9  |
| (7) 定住支援センターにおける移住者受入れ数..... | 10 |
| 第3章 将来人口の推計と分析.....          | 11 |
| 1. 将来人口推計と目標.....            | 11 |
| 2. 自治会別人口.....               | 13 |
| (1) 自治会別人口の見通し.....          | 13 |
| (2) 各自治会における第1期推計人口との比較..... | 14 |
| (3) 自治会別人口ピラミッド.....         | 16 |
| 第Ⅱ部 総合戦略（第2期）.....           | 21 |
| 第1章 策定にあたって.....             | 22 |
| 1. 目的と背景.....                | 22 |
| 2. 計画の位置付け.....              | 22 |
| 3. 計画の期間.....                | 22 |
| 第2章 阿智村のめざす姿.....            | 23 |
| 1. 阿智村のめざす姿.....             | 23 |
| 2. 基本的な視点.....               | 24 |
| 3. SDGs 達成に向けた取組について.....    | 26 |
| 第3章 基本目標と基本目標達成のための施策.....   | 27 |
| 1. しごと.....                  | 28 |



|                           |    |
|---------------------------|----|
| 2. ひとのながれ.....            | 32 |
| 3. 結婚・子育ての切れ目ない支援.....    | 34 |
| 4. まちづくり .....            | 38 |
| 第4章 計画の推進に向けて.....        | 43 |
| 1. 策定体制 .....             | 43 |
| 2. 推進・検証体制.....           | 43 |
| 【資料】SDGsの17のゴール（目標） ..... | 44 |





# 第 I 部 人口ビジョン



## 第1章 策定にあたって

2014 年（平成 26 年）11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本村においても平成 27 年度を初年度とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「人口ビジョン」を策定し、各種施策に取り組んできました。

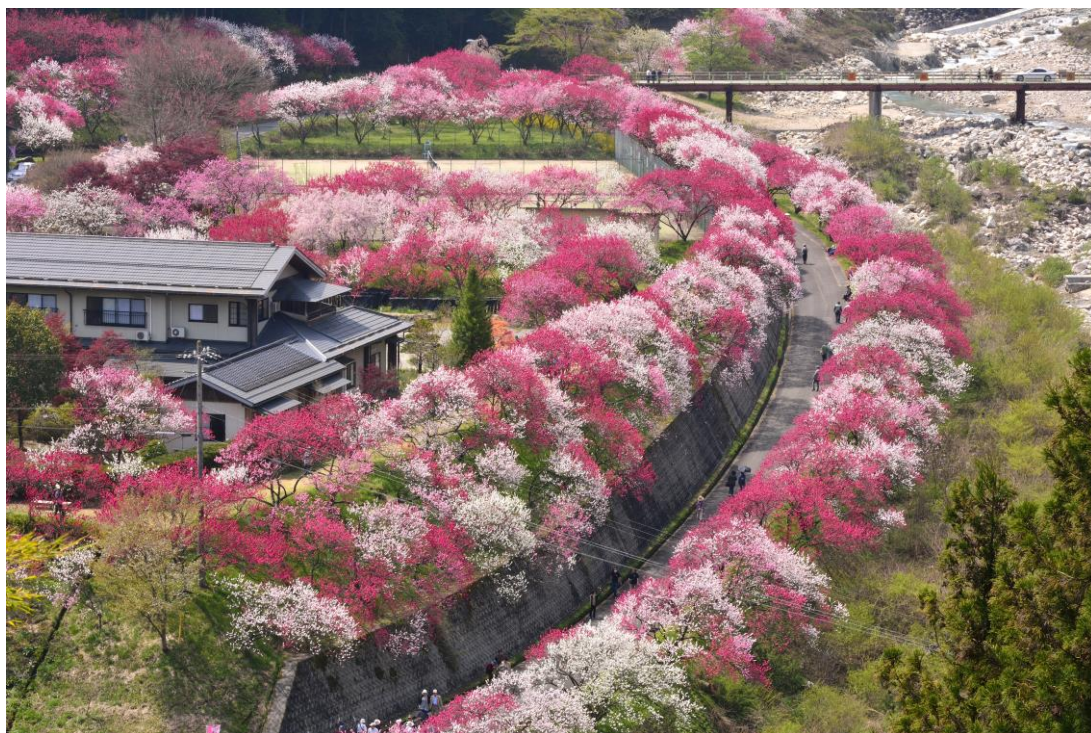
国においては、令和元年 12 月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び 2020 年度を初年度とする第 2 期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。これを踏まえ、国の閣議決定と同日付で「次期『都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定について（通知）」（令和元年 12 月 20 日閣副第 769 号・府地創第 118 号）が発出されました。

本村では引き続き、地方創生の充実・強化に向けて切れ目の無い取組みを進めることが求められていることから、第 1 期の成果を踏まえ「第 2 期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するものです。

また、2018 年～2027 年を計画期間とする「阿智村第 6 次総合計画」が進行中であることから、施策の整合性にも配慮するものとします。

2018 年（平成 30 年）3 月には国立社会保障・人口問題研究所より、平成 27 年国勢調査人口に基づいた将来人口推計が公表されました。従前の将来人口推計値（平成 25 年 3 月推計）では、2040 年における推計値が、4,789 人となっていましたが、平成 30 年 3 月推計では将来人口推計値が 4,245 人となり、500 人程度下方修正される結果となりました。

そのため、最新の推計に基づき「人口ビジョン」の見直しを行い、本村の地域づくりを進めていくための基本的な指標として将来人口目標を設定していくものです。



園原 花桃の里

## 第2章 人口の現状

### 1. 人口推移と見通し

#### (1) 総人口

本村の人口は、2015 年（国勢調査）で 6,538 人となっています。1975 年から 2000 年までの 25 年間では、旧清内路村・浪合村を含む阿智村の人口は 7,800 人前後で推移し、ほぼ一定でした。しかしながら、2000 年以降は人口減少が進み、今後もその傾向が続く見通しとなっています。長野県全体においても 2000 年をピークに人口が減少へと転じています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2045 年には 3,800 人となり、2015 年人口の 58%まで減少するものと見込まれています。

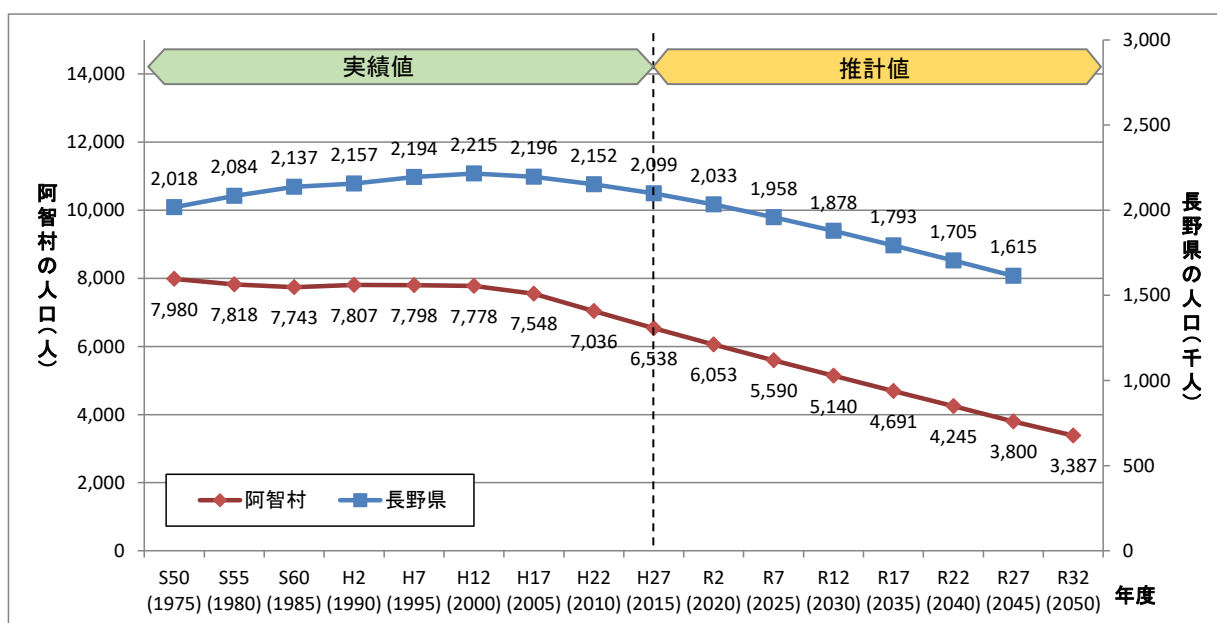


図 阿智村と長野県の人口推移と見通し

出典：（実績値）国勢調査、（推計値）社会保障・人口問題研究所（平成 30 年 3 月推計）

## (2) 年齢3階層別人口

年齢3階層別人口をみると、年少人口、生産年齢人口は減少傾向であり、今後もその傾向は続くものと想定されます。また老年人口は、2020年までは増加しますが、その後は減少に転じるものと想定されます。

年齢3階層別の人口割合では、2040年には、老年人口の割合が生産年齢人口の割合を上回り、46.7%まで上昇するものと推計されています。

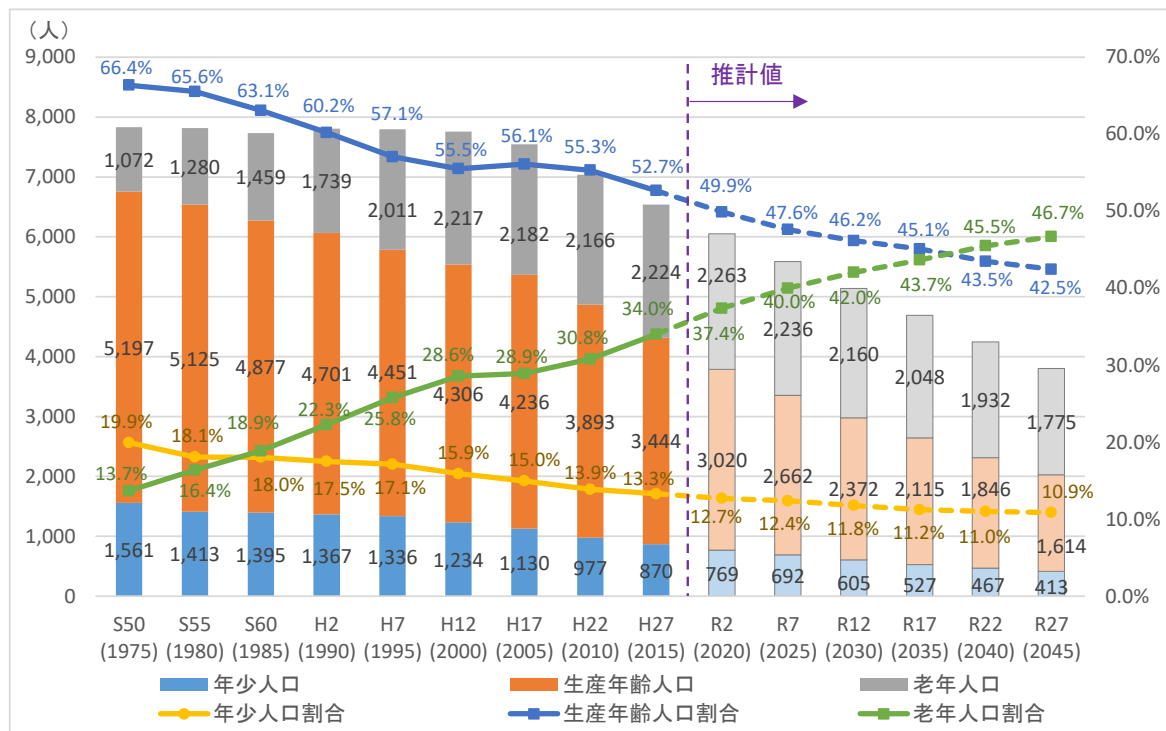


図 年齢3階層別人口の推移と見通し

出典：(実績値) 国勢調査、(推計値) 社会保障・人口問題研究所（平成30年3月推計）

## (3) 人口の減少段階の分析

人口減少段階は一般的に、「第1段階：老年人口の増加(総人口の減少)」、「第2段階：老年人口の維持・微減(減少率0%以上10%未満)」、「第3段階：老年人口の減少」の3つの段階を経て進行するといわれています。本村は現在第1段階であり2020年から第2段階、2040年から第3段階に進行するものと想定されます。

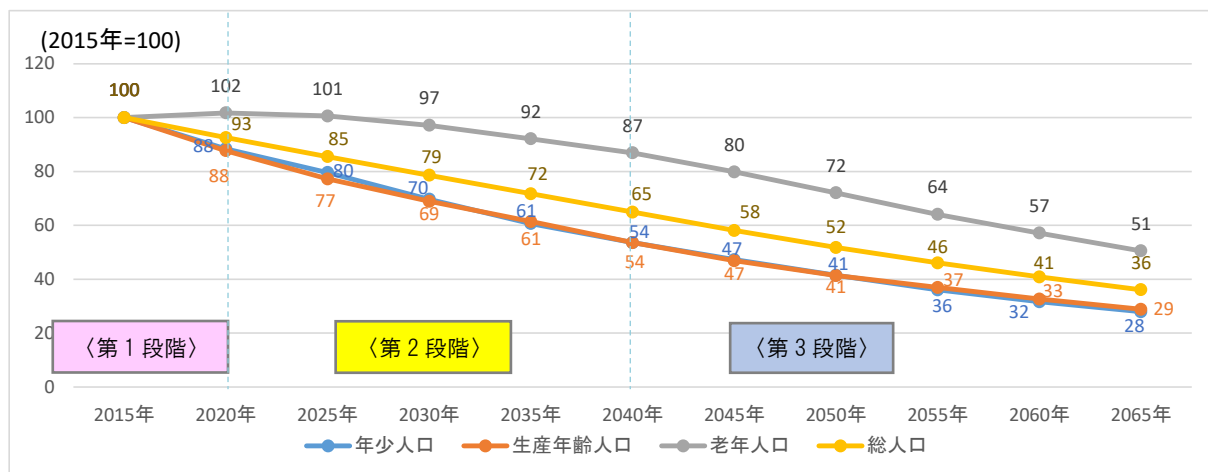


図 人口の減少段階

## 2. 自然動態と社会動態

### (1) 総数

2009 年～2018 年の 10 年間に阿智村の人口は 813 人減少しました。そのうち、480 人が自然減、333 人が社会減となっています。

第 1 次計画策定後の 4 年間でみると、社会動態は大きな変動はありませんが、自然動態（出生数・死亡数）の減少が大きくなっています。

表 自然動態と社会動態

| 項目   | 2009 年から 2018 年までの 10 年間 |         | 2015 年から 2018 年までの 4 年間 |         |
|------|--------------------------|---------|-------------------------|---------|
|      | 総数（人）                    | 年間平均（人） | 総数（人）                   | 年間平均（人） |
| 自然動態 | -480                     | -48     | -256                    | -64     |
| 社会動態 | -333                     | -33     | -118                    | -29     |
| 増減数  | -813                     | -81     | -374                    | -93     |

### (2) 自然動態

1998 年以降、死亡数が出生数を上回り、自然減が続いています。高齢者人口が多いことから自然減は今後も続くと思われています。

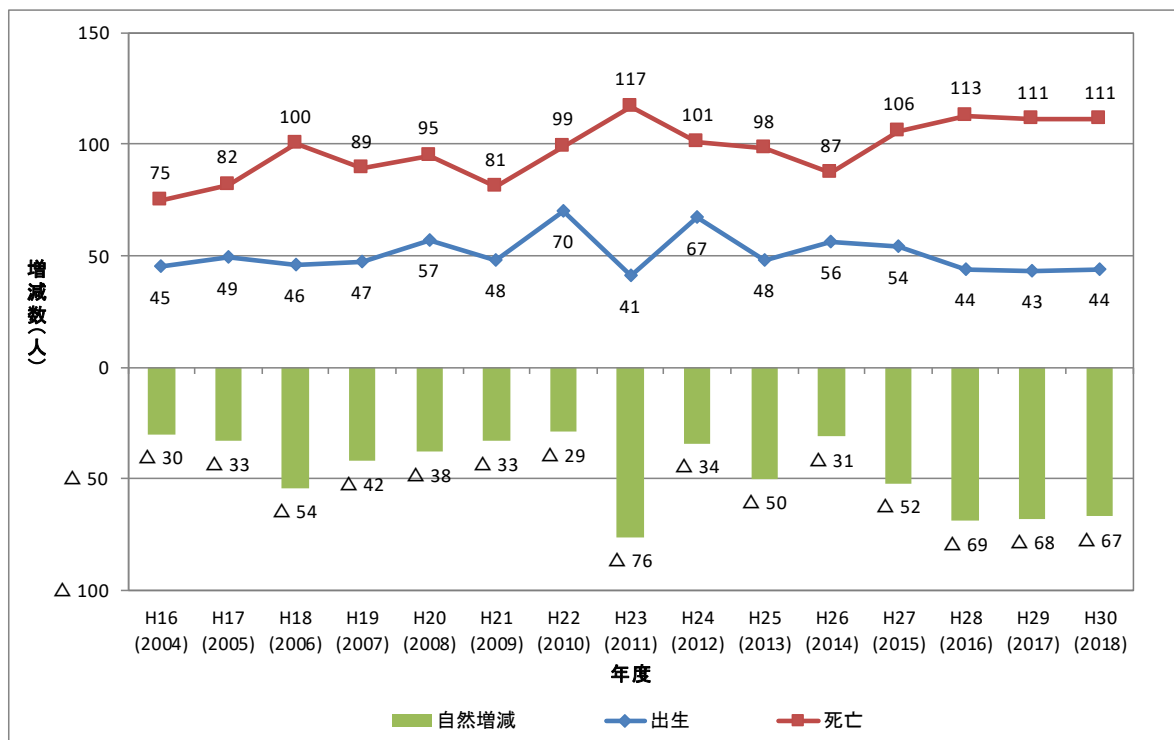


図 自然増減(出生・死亡)の推移

出典：阿智村の統計 2018

### (3) 出生数と出生率

阿智村の合計特殊出生率は2015年までは1.7を維持していましたが、それ以降は減少傾向が続いています。2014～2018年の5年間における平均の合計特殊出生率は1.58で、長野県平均1.59(2016年数値)とほぼ同水準となっていますが、直近の2018年では1.41となっています。また、人口置換水準である2.07には届かない状況となっています。

直近5年間(2014～2018年)の出生数は、241人であり、年平均48.2人となっています。なお、社会保障・人口問題研究所の全国調査<sup>\*1</sup>によると、理想の子ども数をもたない理由として「子育てに関する経済的負担」が理由のトップとして挙げられています。出生を希望する人が安心して産み育てられる社会を構築することが必要です。

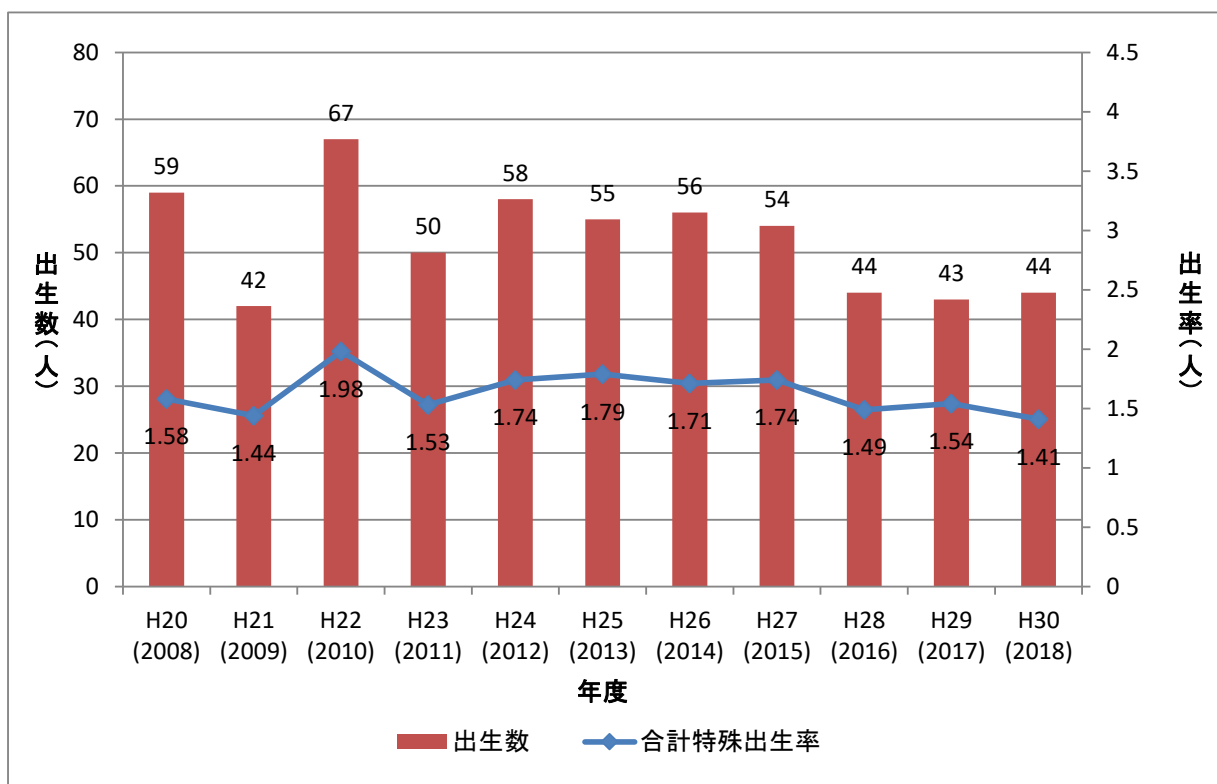


図 出生数と出生率の推移

出典：阿智村民生課



#### (4) 未婚率

生涯未婚率<sup>\*2</sup>は、近年増加傾向にあり、2015 年では、全国の男性で 23.37%、女性で 14.06%、長野県の男性で 22.88%、女性で 11.21%となっています。一方、本村の生涯未婚率は、男性で 19.9%、女性で 8.5%であり、男女とも国及び県の数値よりも低くなっています。

年代別の未婚率では、2010 年から 2015 年までの 5 年間でみると、男性では 25 歳～29 歳、35 歳～39 歳、40 歳～44 歳、45 歳～49 歳で未婚率が減少しています。また、女性では 30 歳～34 歳で未婚率が減少しています。

全国的な調査<sup>\*1</sup>によると、結婚を望む未婚者は 85%を超えており、本村においても結婚を望む未婚者が多いと考えられます。本村でも官民連携により、相談窓口の設置やイベント開催などを進めています。今後も引き続き、結婚しやすい環境づくりに向けた支援が必要です。

また、平成 26 年版男女共同参画白書<sup>\*3</sup>によると、婚姻率と明らかに関係があるものとして就業形態が挙げられており、労働・雇用も含めた若者を取り巻く環境を考え、将来に希望を持てる社会をつくるっていく必要があります。

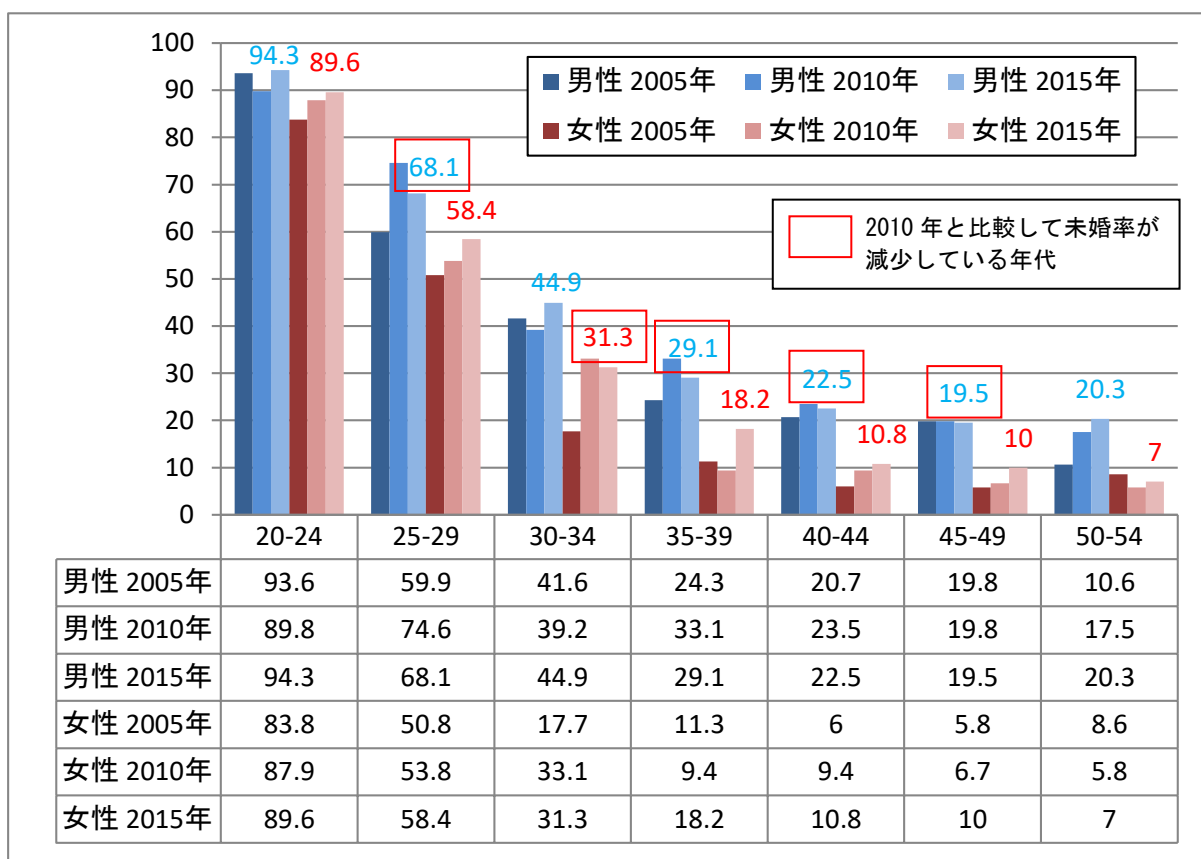


図 年代別未婚率

出典：国勢調査

\*1 国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回出生動向基本結婚と出産に関する全国調査」（平成 29 年 3 月）

\*2 50 歳時の未婚率であり、45～49 歳と 50～54 歳の未婚率の単純平均により算出

\*3 内閣府男女共同参画局「平成 26 年版男女共同参画白書」

## (5) 社会動態

平成 14 年から平成 30 年までの社会動態をみると、社会増となった年も若干みられるものの、全体的には転出超過となっています。直近 10 年間の平均では、年間 32 人が転出超過となっています。

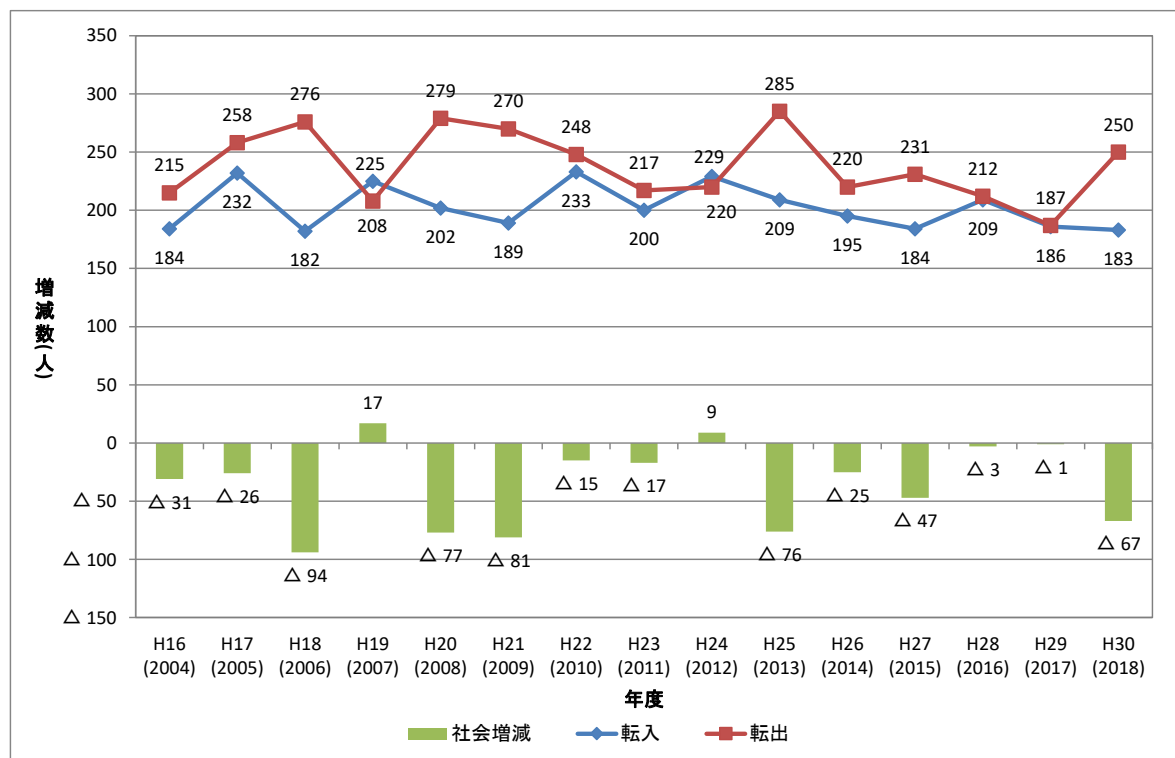


図 社会動態(転入・転出)の推移

出典：阿智村の統計 2018



富士見台高原

## (6) 年齢別移動状況

2000 年から 2015 年の 3 時点における年齢別の移動状況をみると、「15～19 歳→20～24 歳」において進学や就職に伴い転出が大きく超過しており、概ね 100 人～150 人の転出超過となります。その後、「20～24 歳→25～30 歳」においては転入が超過し一旦は U ターンにより転入超過になるものの、「25～29 歳→30～34 歳」では、再度転出が大きくなっています。そのため、一旦戻った若者が村内に留まれるための方策が必要といえます。

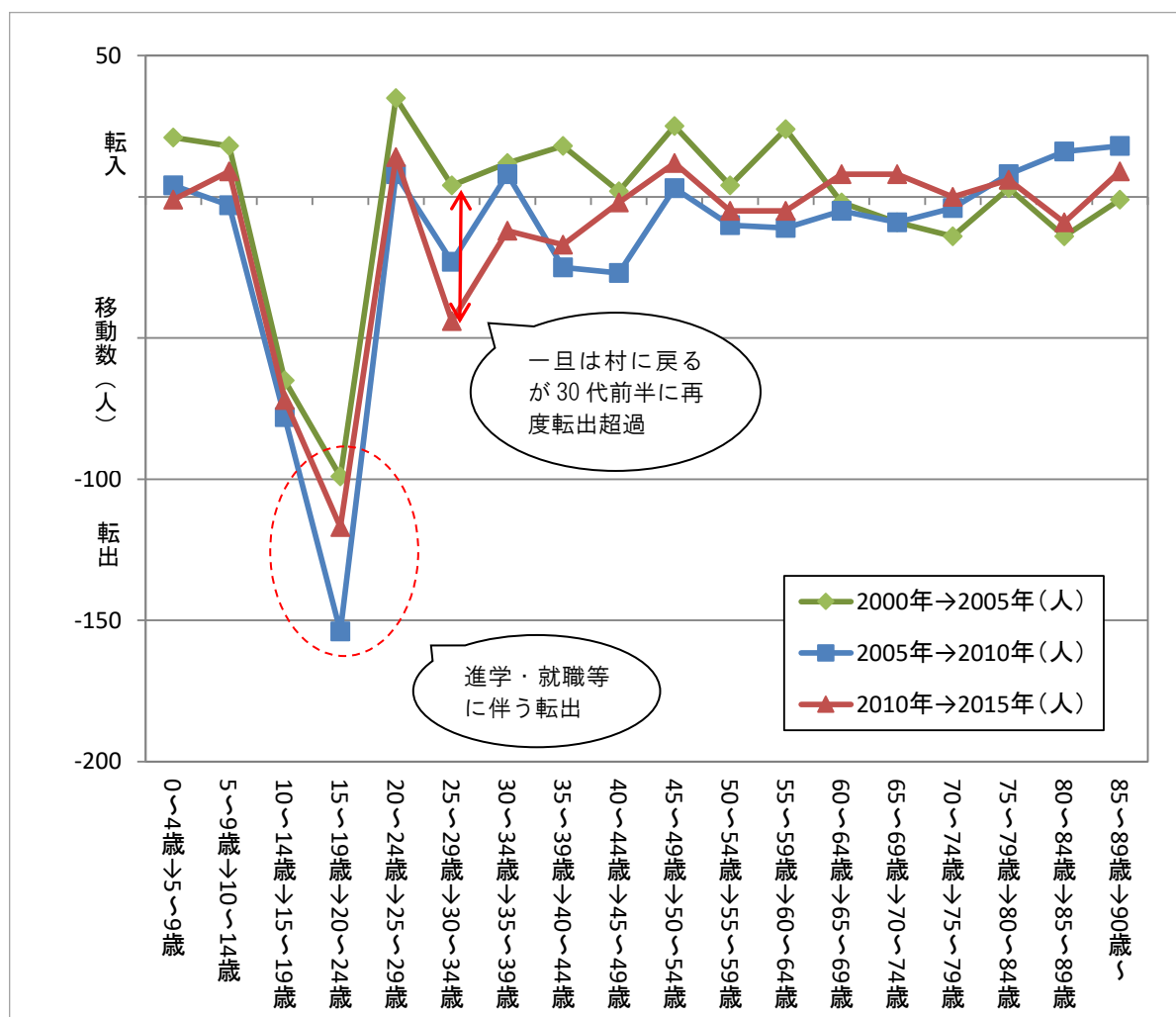


図 年齢別移動状況

出典：RESAS（地域経済分析システム）

# (7) 定住支援センターにおける移住者受入れ数

本村では定住支援センターを設置し、移住受入れの相談窓口として機能してきました。センターを通じて10年間に453人の移住者（主に1ターン）を迎えています。10年間を平均すると年間45人の移住者を迎えています。

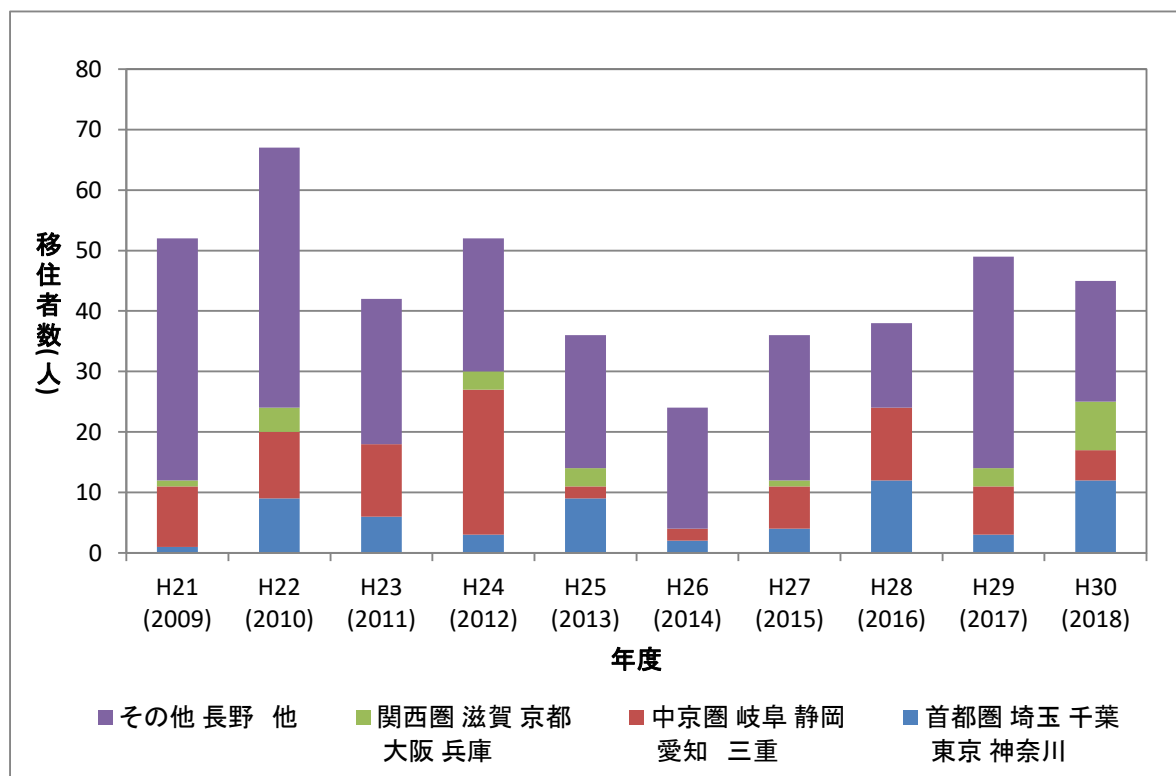


図 移住者数の推移

表 移住者数の推移

| 年度   | 首都圏<br>埼玉・千葉<br>東京・神奈川 | 中京圏<br>岐阜・静岡<br>愛知・三重 | 関西圏<br>滋賀・京都<br>大阪・兵庫・奈良 | その他<br>長野他 | 合計  |
|------|------------------------|-----------------------|--------------------------|------------|-----|
| 2009 | 1                      | 11                    | 1                        | 39         | 52  |
| 2010 | 9                      | 10                    | 5                        | 43         | 67  |
| 2011 | 6                      | 12                    | 0                        | 24         | 42  |
| 2012 | 3                      | 24                    | 3                        | 23         | 53  |
| 2013 | 9                      | 2                     | 1                        | 24         | 36  |
| 2014 | 2                      | 2                     | 1                        | 18         | 23  |
| 2015 | 4                      | 7                     | 1                        | 24         | 36  |
| 2016 | 12                     | 12                    | 0                        | 19         | 43  |
| 2017 | 3                      | 8                     | 3                        | 38         | 52  |
| 2018 | 12                     | 5                     | 8                        | 24         | 49  |
| 合計   | 61                     | 93                    | 23                       | 276        | 453 |

※定住支援センターが関わったケース

## 第3章 将来人口の推計と分析

### 1. 将来人口推計と目標

本計画では「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ等（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）」の人口推計プログラムを用いて将来推計人口の試算を行いました。この人口推計プログラムではコーホート要因法により将来人口を推計しています。また移住組数や出生率を任意で設定し加味した形での推計が可能です。

ここでは出生率と移住組数を変えた5パターンを提示します。

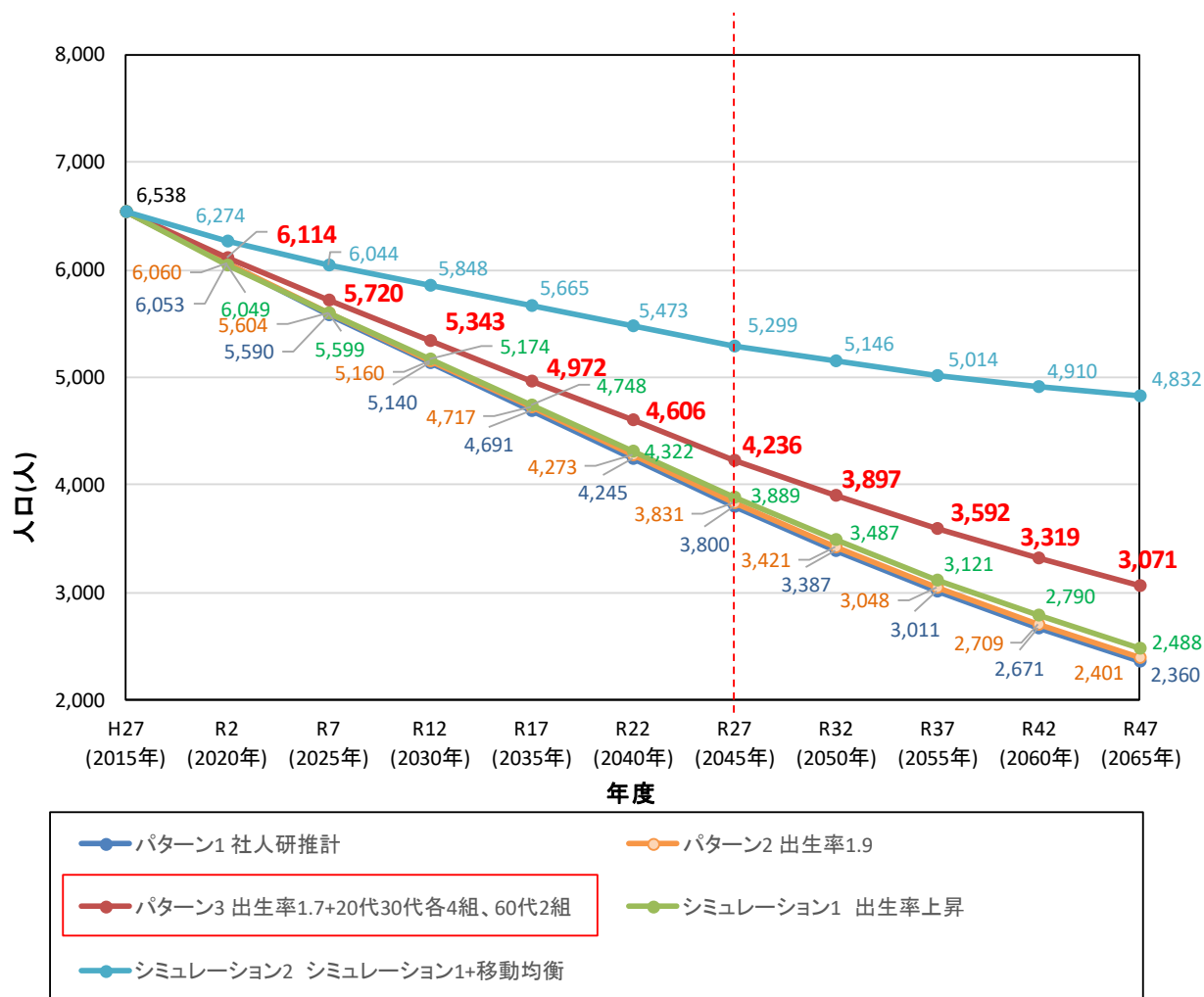


図 将来人口推計結果

出典：社人研推計は社会保障・人口問題研究所

社人研推計によると、2045年時点での人口は3,800人となり、2015年比で約58%の人口となることが推計されています。

本村には保育園が6園、小学校が5校あります。地域にとって学校、保育園があることは重要であると考え、各保育園・学校を維持できるだけの出生数を目指します。その際、出生数のみで人口を増やすことは困難であることから、IJUターナー者を迎え入れることで、人口の維持を図っていくことが必要となります。



### 【阿智村の人口目標】

阿智村の人口目標を以下のように設定します。

2045 年人口 = 4,236 人  $\div$  4,300 人 (2015 年の約 65%)  
(前頁グラフ パターン 3)

#### 【設定根拠】

- (1) 合計特殊出生率：1.7 (年間出生数目標：50 人程度)
- (2) 年間移住目標：69 人  
[45 人(2015～2018 年の平均移住者数<sup>\*1</sup>) + 24 人(増加見込み分)]

#### 〈増加見込み分 24 人の内訳〉

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| ① 大卒時の U ターン・20 代 IJ ターン (20 代男女) | 4 組／年間＝8 人  |
| ② 30 代夫婦 IJU ターン (30 代夫婦と子ども 1 人) | 4 組／年間＝12 人 |
| ③ 60 代 2 人世帯 (定年帰農など)             | 2 組／年間＝4 人  |

\*1 定住支援センターを介しての移住(P8 参照)



星空のポスト

## 2. 自治会別人口

### (1) 自治会別人口の見通し

総人口の推計と同様の手法を用いて、8 自治会ごとの将来推計人口を以下に示します。  
すべての自治会で人口が減少していくことが推測されます。

表 自治会別推計結果

|     | 2015 年 | 2020 年 | 2025 年 | 2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 2045 年 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 上中関 | 579    | 558    | 535    | 507    | 478    | 448    | 418    |
| 中関  | 686    | 662    | 639    | 611    | 581    | 547    | 510    |
| 駒場  | 1,251  | 1,154  | 1,068  | 987    | 906    | 829    | 754    |
| 伍和  | 1,504  | 1,405  | 1,310  | 1,214  | 1,125  | 1,030  | 936    |
| 智里東 | 1,101  | 1,017  | 942    | 876    | 808    | 746    | 678    |
| 智里西 | 294    | 276    | 259    | 245    | 233    | 224    | 216    |
| 浪合  | 550    | 511    | 474    | 446    | 416    | 389    | 362    |
| 清内路 | 573    | 530    | 493    | 458    | 425    | 392    | 362    |

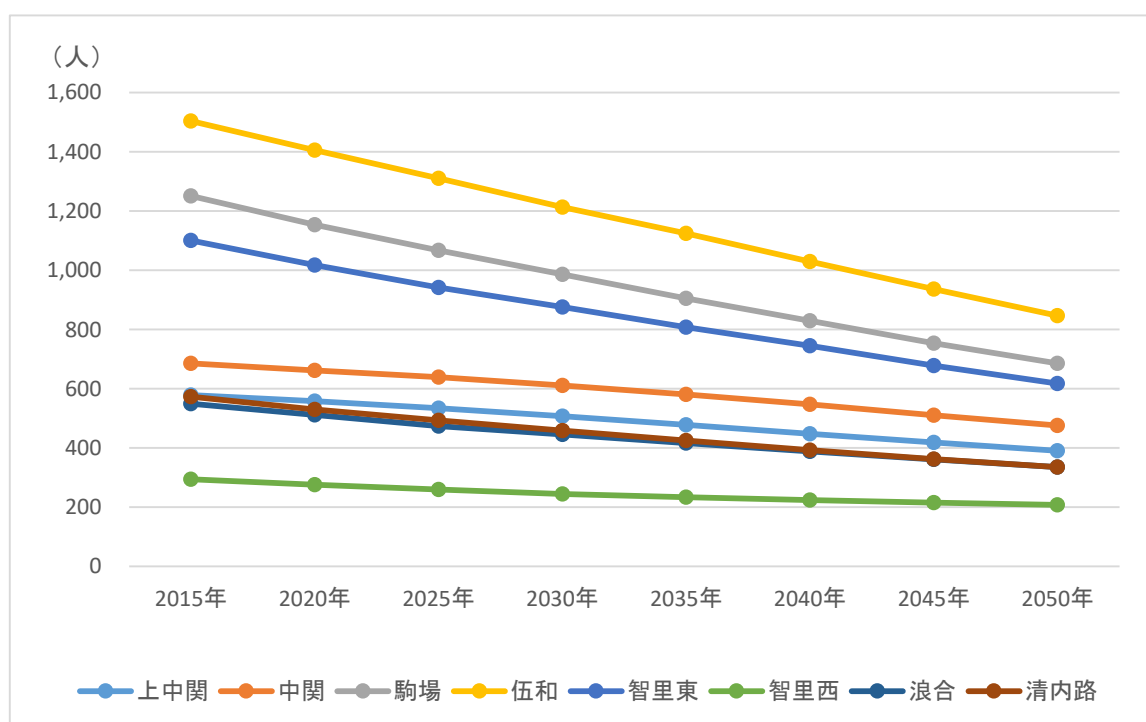
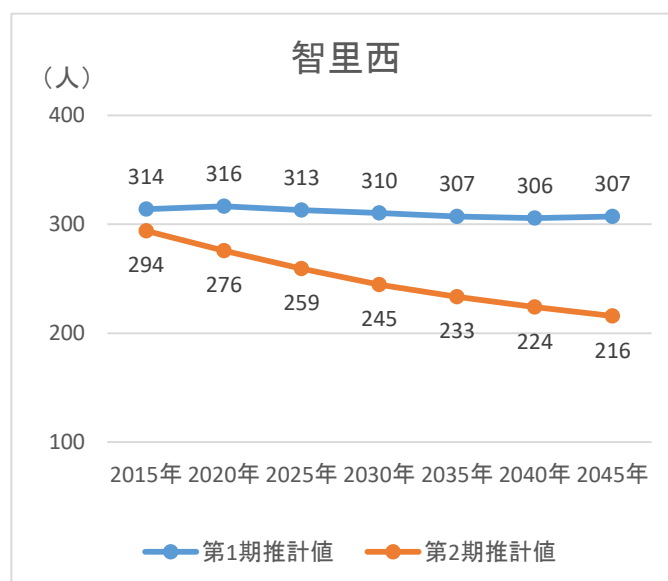
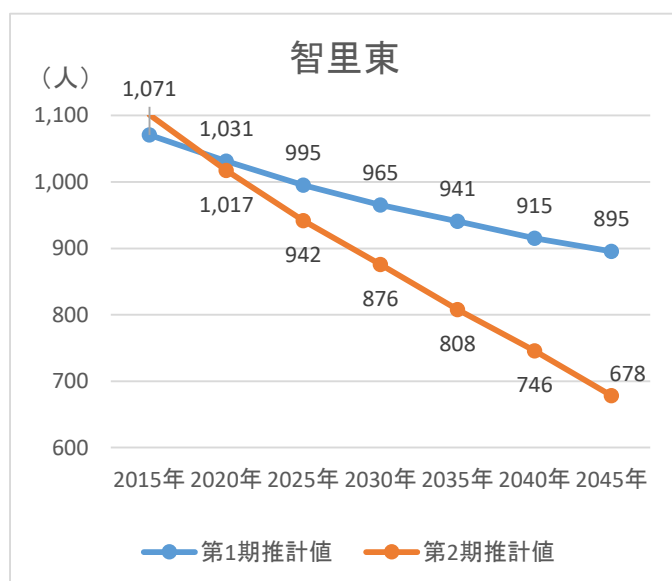
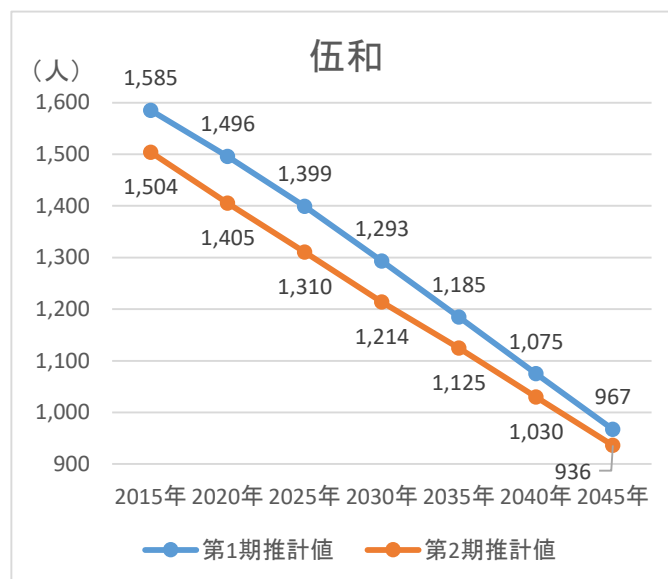
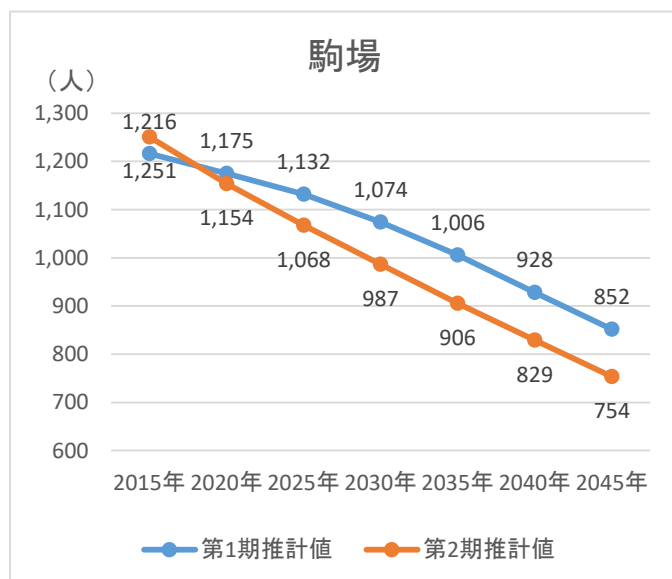
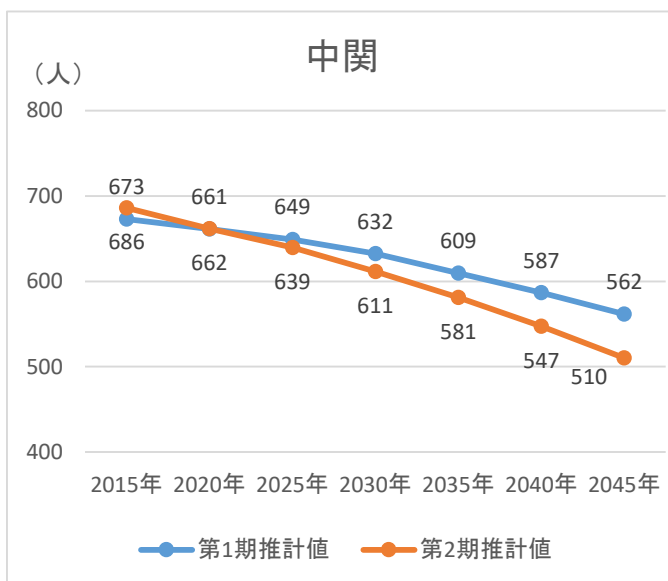
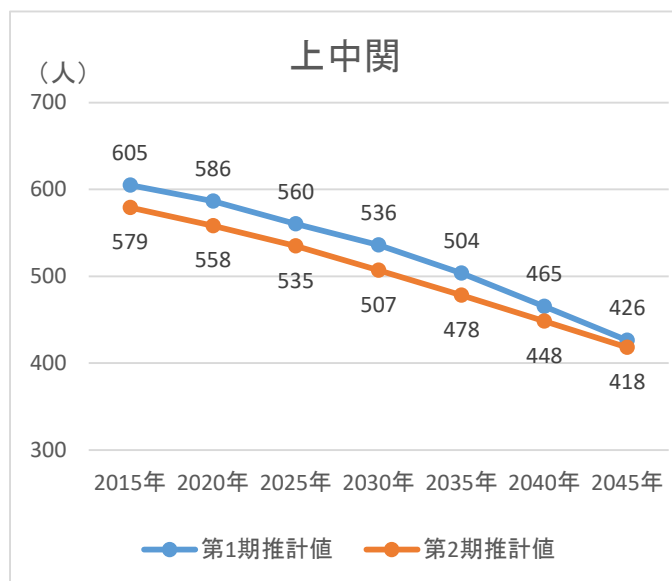
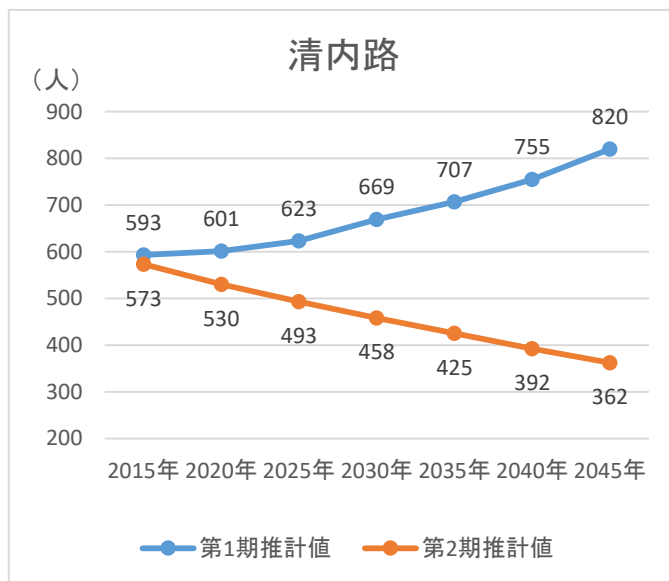
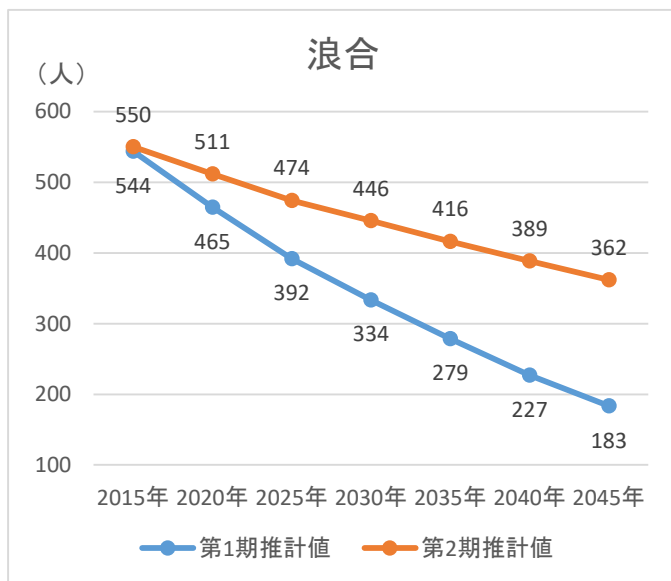


図 自治会別推計結果

(2) 各自治会における第1期推計人口との比較

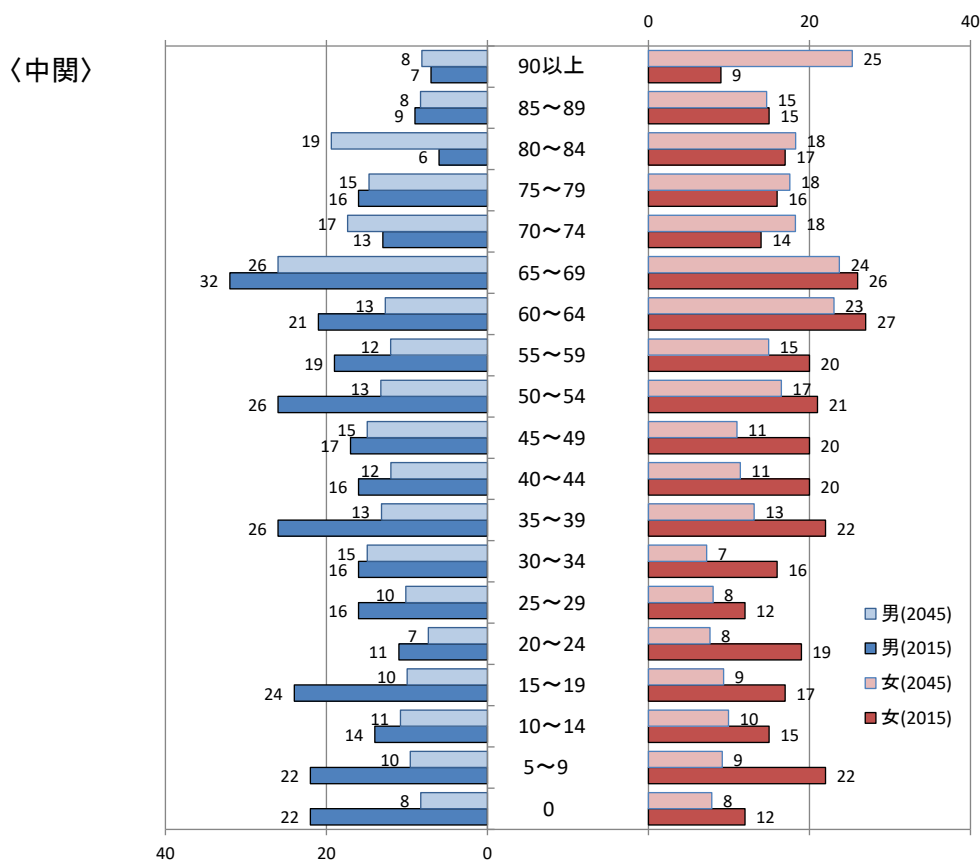
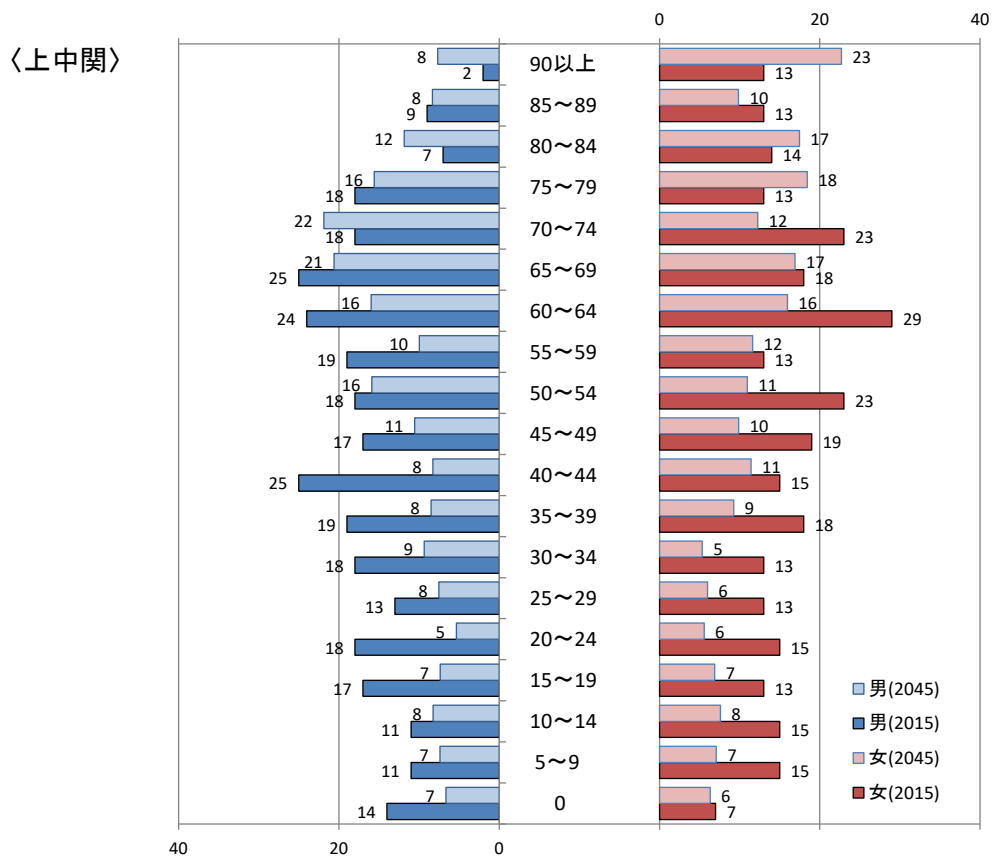




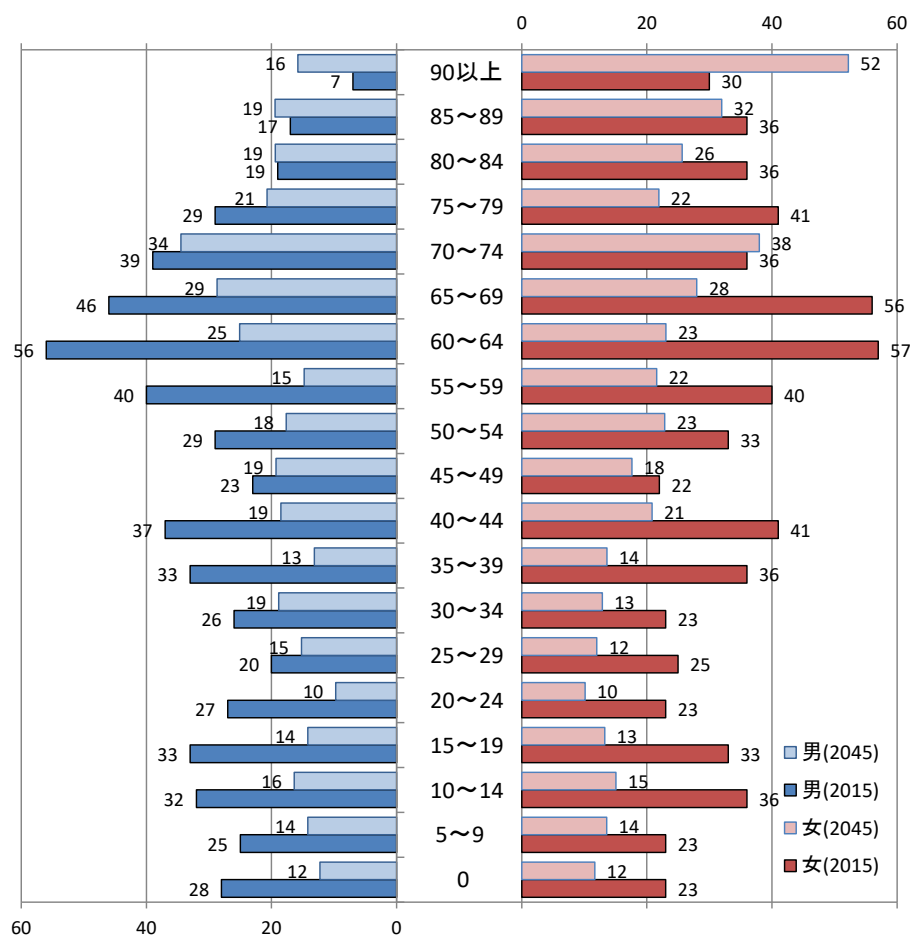
清内路のミズナラ

### (3) 自治会別人口ピラミッド

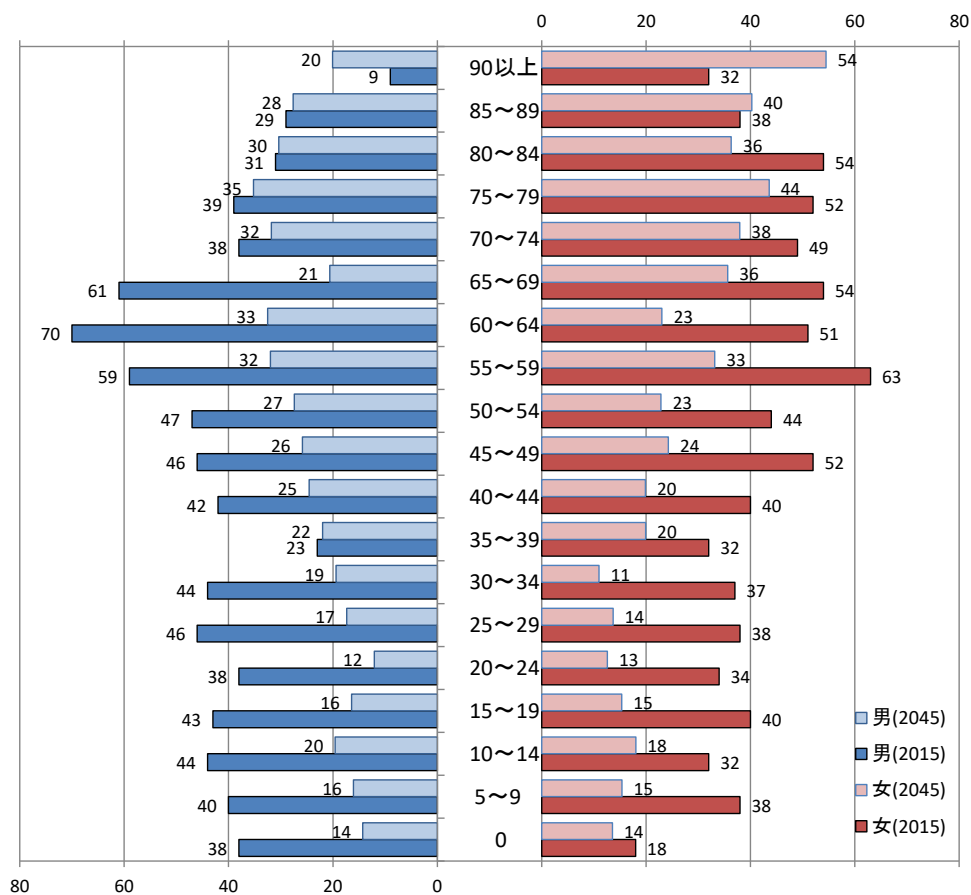
8 自治会ごとの人口ピラミッド（2015 年及び 2045 年）を以下に示します。各自治会とも、人口重心が 70 歳代以上となっていくことが推測され、人口構成を踏まえるとともに、コミュニティの維持に向けた方策を検討していく必要があります。



〈駒場〉

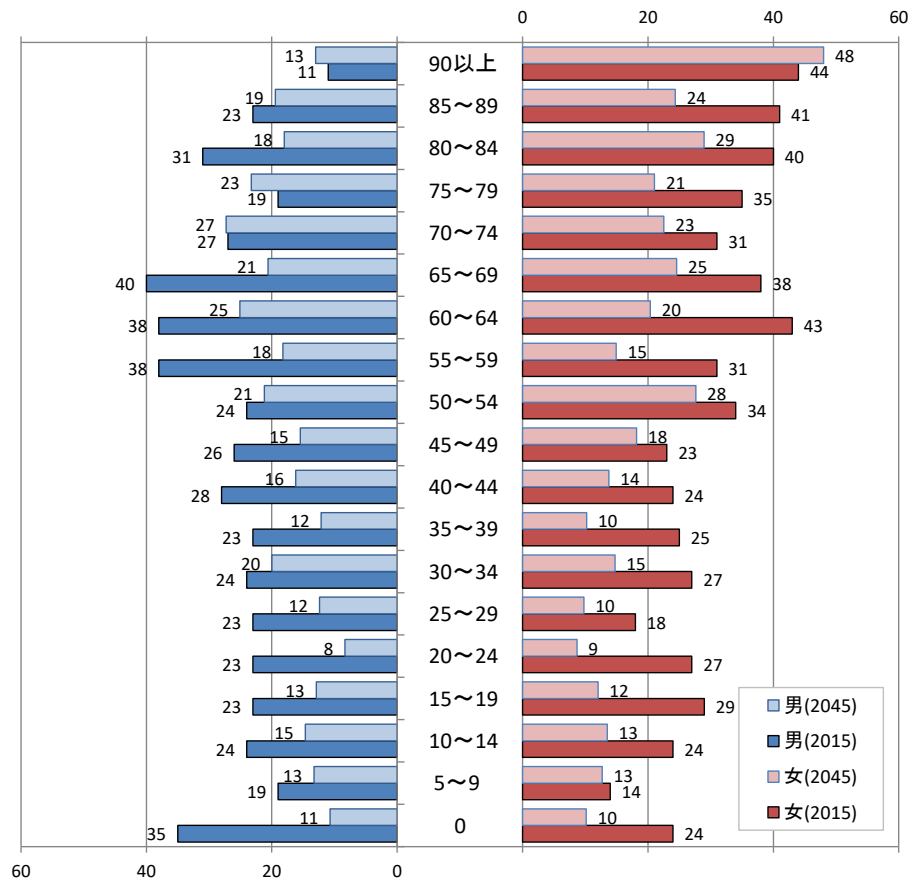


〈伍和〉

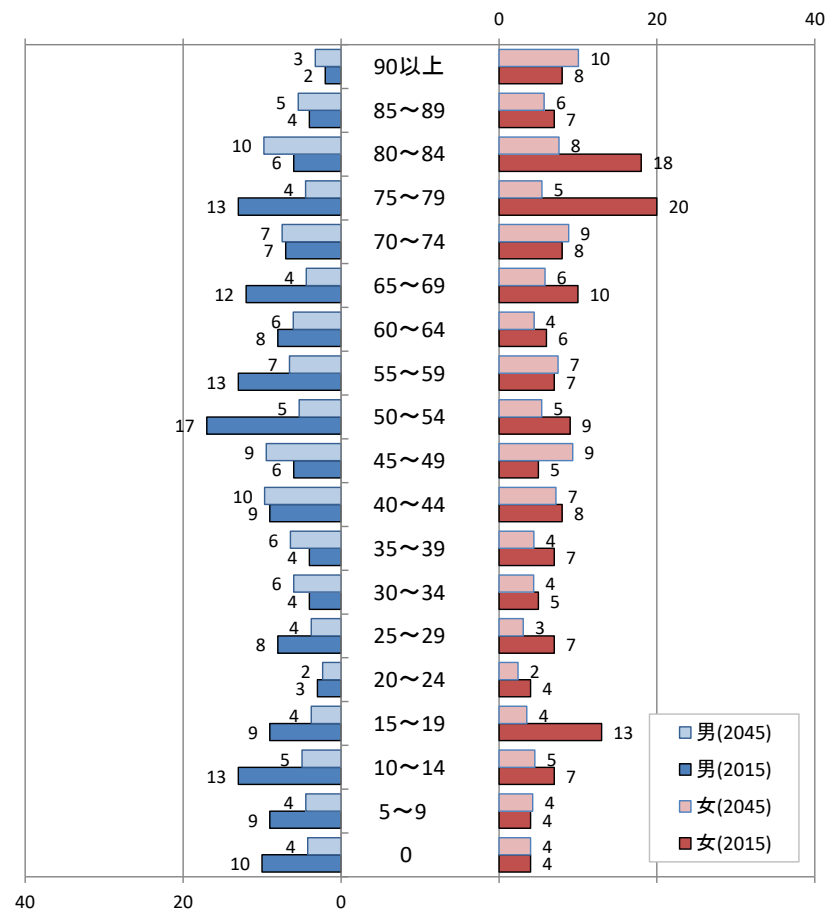




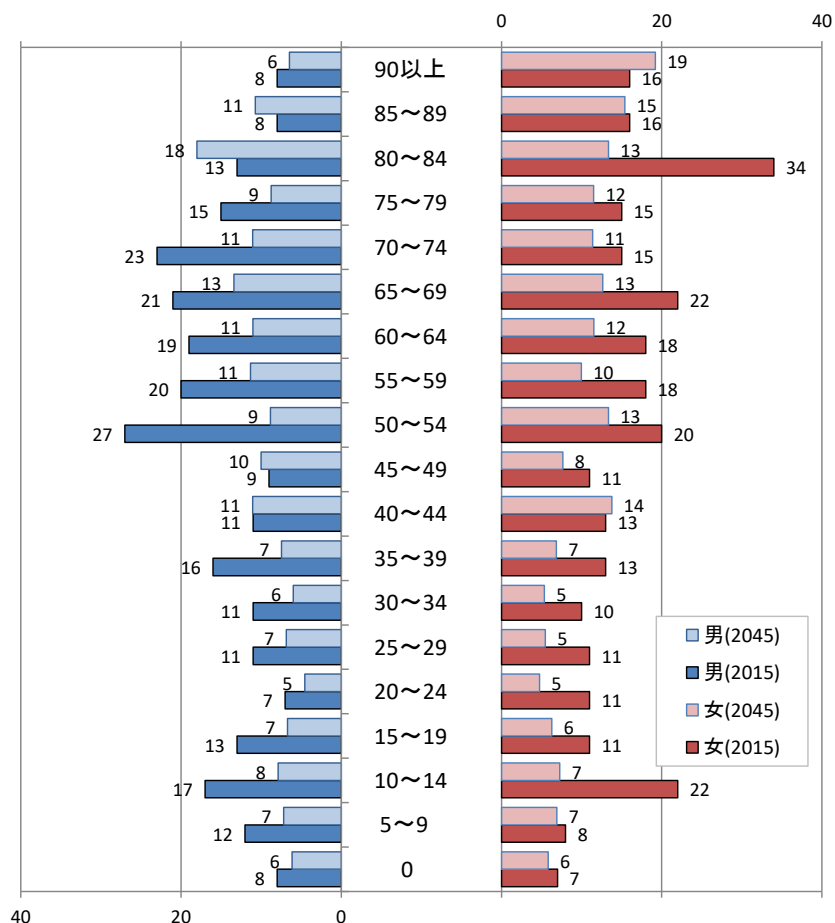
〈智里東〉



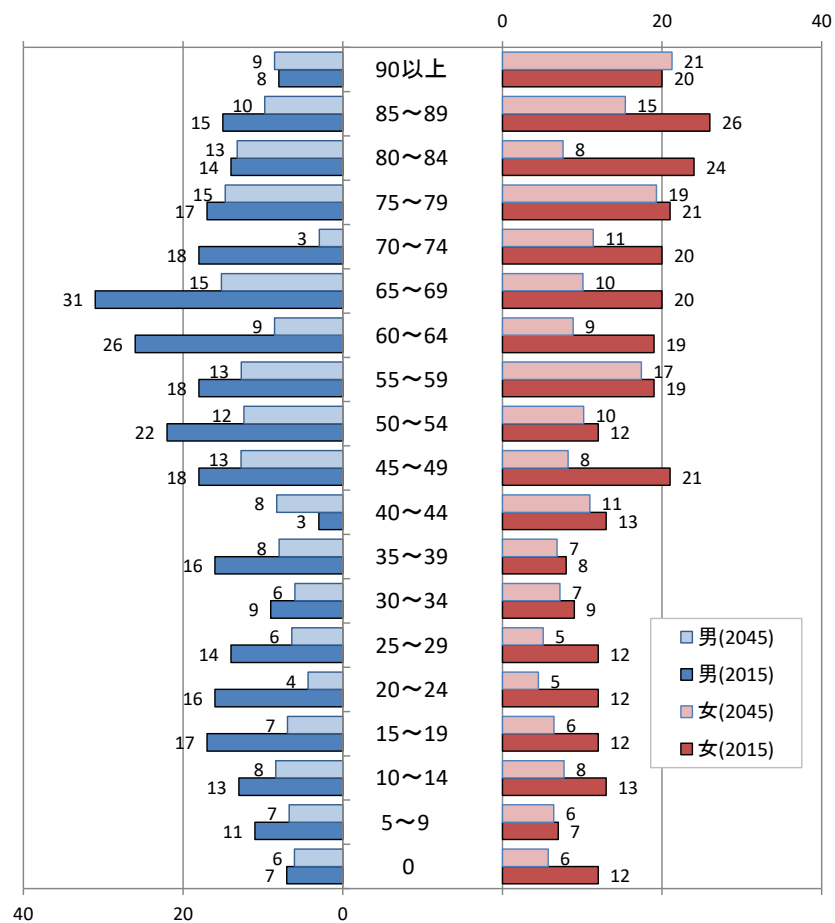
〈智里西〉



〈浪合〉



〈清内路〉





## **第Ⅱ部 総合戦略（第2期）**

# 第 1 章 策定にあたって

## 1. 目的と背景

「阿智村まち・ひと・しごと創生総合戦略」は「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、阿智村人口ビジョンをもとにして、今後 5 か年の基本目標や施策をまとめるものです。

平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」では、「急速に進む少子高齢化の進展に対応し、日本全体、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正する。それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが喫緊の課題である」としています。

本村においても、2015 年 3 月に「阿智村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「しごと」、「ひとのながれ」、「結婚・子育ての切れ目ない支援」、「まちづくり」の 4 つの分野において計画に位置付けられた各施策を展開してきました。

第 2 期計画においては、第 1 期計画の成果を踏まえながら、施策や KPI の見直しを行うとともに、第 6 次総合計画との整合性を図りながら、「住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくり」の実現に向けて総合戦略の見直しを行うものとします。

## 2. 計画の位置付け

阿智村第 6 次総合計画は 2018 年度（平成 30 年度）から 2027 年度（令和 9 年度）までの 10 年間であり、この「第 2 次まち・ひと・しごと創生総合戦略」は前期基本計画期間と後期基本計画期間にまたがっています。本計画の策定においては第 6 次総合計画基本構想及び前期基本計画の方向性を踏まえながら、第 6 次総合計画後期計画策定につなげていくものとします。

| 西暦              | 2015    | 2016 | 2017 | 2018   | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023   | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2027 |
|-----------------|---------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|
| 和暦（平成/令和）       | 27      | 28   | 29   | 30     | 1    | 2    | 3    | 4    | 5      | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   |
| 第6次総合計画         | 第5次総合計画 |      |      | 基本構想   |      |      |      |      |        |      |      |      |      |      |
|                 |         |      |      | 前期基本計画 |      |      |      |      | 後期基本計画 |      |      |      |      |      |
| まち・ひと・しごと創生総合戦略 | 第1期     |      |      |        |      |      |      |      |        |      |      |      |      |      |
|                 | 第2期     |      |      |        |      |      |      |      |        |      |      |      |      |      |

## 3. 計画の期間

令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間

## 第2章 阿智村のめざす姿

### 1. 阿智村のめざす姿

阿智村の人口はこのままいくと、2045年には58%まで減少することが見込まれています。地区の人口減少は、住みやすさに少なからぬ影響をもたらします。村内各地域の保育園、学校、各種機能を維持すること、農業、景観保全、地域のお役など、人口はあらゆる場面で生活のあり方、地域のあり方を決める大きな要素です。そこで本計画では30年後に、2015年人口の65%（4,300人）を維持することを目標としました。

2012年から始まった「スタービレッジ阿智」の取り組みは阿智村の知名度を一気に向上させました。星という阿智村の自然環境を活用した取り組みであり、「星ふるさと」をキャッチフレーズに、すべてのひとの心のふるさととして人も星も輝く村をめざします。

またスタービレッジ阿智によって、阿智村を訪れる観光客は増えています。この交流人口の拡大を阿智村の定住人口の増加に結びつけるためにも、住み続けたい、住み続けられる村であることが必要です。これまでも阿智村では、住民のみなさんによる定住者受入れのための取り組みが行われてきました。また村としても定住支援センターを設置し、移住促進に努めてきました。今後は「暮らす、生きる。阿智家族」をスローガンにさらなる定住促進に取り組みます。

本戦略の策定をあらためて村民一人ひとりが村の将来を考え、その良さを理解する機会とし、住み続けたい、住み続けられる村づくりをすすめていきます。

#### 【阿智村第6次総合計画 基本構想における将来像】

### 暮らす、生きる。阿智家族

#### （住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくり）

阿智家族として語れる夢があること、支えあえること、分かち合う場所があること、明日を楽しみに眠れること。

阿智に暮らすということは、住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくりにより村ごと大きな家族になること。

日本一の星降る郷であるだけでなく、全てのひとの心のふるさととして人も星も輝く村をめざします。

#### 〈横断的施策大綱〉

#### 定住人口の確保・維持

- ・移住・定住施策の充実
- ・婚活事業
- ・医療・出産子育て施策の充実

#### 人づくり・健康づくり・地域力

- ・健康増進活動の充実、支援
- ・地域愛を育む教育
- ・自治活動の充実、支援

#### 阿智ブランドの確立

- ・観光ブランド力強化 ・特産品・技術開発
- ・農産物付加価値
- ・産直市場計画

#### まちづくり計画

- ・公共交通の充実 ・わい Wai 公園周辺計画
- ・役場周辺計画 ・屋神温泉計画
- ・リニア・三遠南信道開通将来ビジョン



## 2. 基本的な視点

### 【視点1】誰もが暮らしやすい地域

住んでいる私達がこの村に住んで良かったと思える村にすることが何より重要です。結果的にそうした地域に移住者が集まってくると考えます。

### 【視点2】若者が暮らしやすい地域-持続可能な阿智村

第6次総合計画策定に先立ち、村内在住の20代、30代の方を対象に「若者まちづくり懇談会」、阿智中学校3年生を対象に「村長さんと語る会」を実施しました。

「若者まちづくり懇談会」では、「若者が住みたくなる住宅」、「自然が残る村づくり」、「公共交通の充実」、「遊休農地の活用」、「若者が集える場所（居酒屋、カフェ、イベント、BBQ）」、「地域の仕事」など多岐にわたる意見が出されました。

「村長さんと語る会」では、村の良いところとして、星や景色のきれいさや自然の豊かさなどが挙げられ、良いところを生かした村の活性化策について多くの意見が出されています。

また、第6次総合計画住民アンケート結果において、村に愛着を持っている人の割合は若者世代でも高くなっており、持続可能なまちづくりを推進していくうえで、若者が暮らしやすい地域づくりが必要といえます。そのため、地域コミュニティの中で若者が気楽に参画できる機会や場づくりにより、若者が持っている地域に対する思いをまちづくりに生かしていく仕組みづくりが必要であるといえます。

### 【視点3】集落の維持

集落は生活の基盤となる単位です。集落単位、自治会単位で地域の実状に即した取り組みを進め、集落を維持することが必要です。

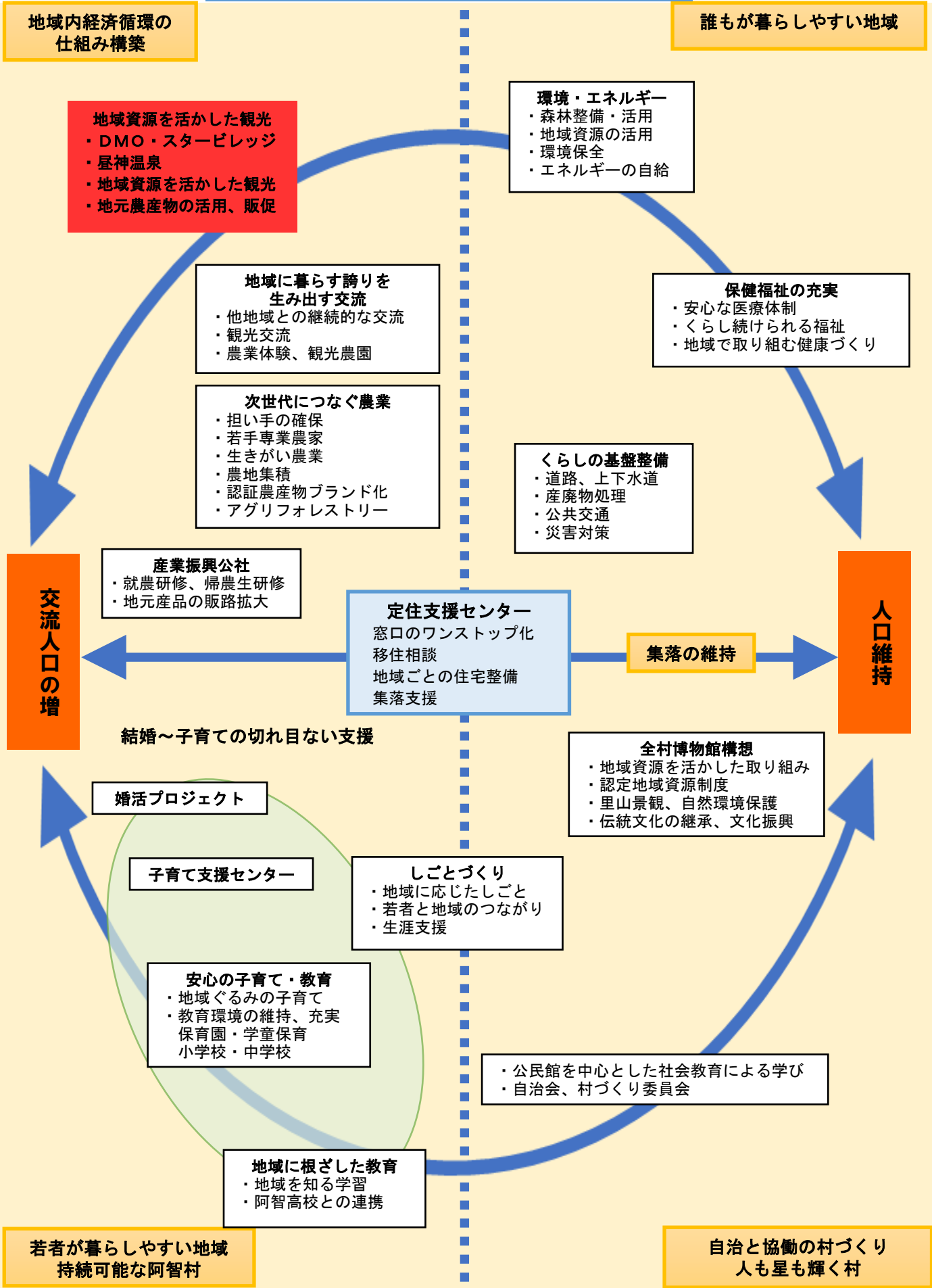
### 【視点4】地域内経済循環の仕組み構築

スタービレッジの取り組みにより、阿智村を訪れる観光客が増えています。観光客がこの地に滞在し、村内各所を訪れる仕組みをつくり、農林業、商工業などへ効果を波及させることが必要です。地域資源を活かした産業を掘り起こし、地域課題の解決を地域の仕事としていくことで、地域内経済循環をつくりだします。

### 【視点5】自治と協働の村づくり

地域をつくるのはここに暮らす住民の皆さんの自治と協働の力にほかなりません。その力が十分に発揮できるよう村は必要な取り組みを進めます。

## 暮らす、生きる。阿智家族



### 3. SDGs 達成に向けた取組について

SDGs は、「Sustainable Development Goals」の略で、2015 年 9 月の国連サミットで採択された 2030 年までの長期的な開発の指針として採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中核をなす「持続可能な開発目標」であり、先進国を含む国際社会共通の目標です。

2015 年までを計画期間としていた発展途上国向けの開発目標「MDGs（ミレニアム開発目標）」の後継として採択された SDGs は、発展途上国のみならず先進国を含む国際社会全体の開発目標として、持続可能な世界を実現するための包括的な 17 の目標及び細分化された 169 のターゲットから構成され、地球上の「**誰一人として取り残さない**」**社会の実現**を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する統合的な取組が示されています。

国においては、内閣総理大臣を本部長とする「SDGs 推進本部」が設置され、平成 28 年 12 月の会合において「SDGs 実施指針」を策定し、経済、社会、環境の分野における 8 つの優先課題と具体的施策を盛り込むとともに、地方公共団体の役割の重要性が示されています。また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、地方公共団体における SDGs の取組推進が位置付けられるなど、積極的な取組が期待されています。

本村の総合戦略で取り組む方向性は、スケールこそ異なるものの、国際社会全体の開発目標である SDGs の理念、17 の目標とその目指すべき方向性は同じであり、本戦略の推進を図ることが SDGs の目標達成にも資するものと考えています。そのため、本村においても住民をはじめ多様な主体と連携・協働しながら、計画的なまちづくりを進めることで、SDGs の目標達成につなげていきます。（SDGs の 17 のゴール（目標）について、巻末に資料を掲載しています）



## 第3章 基本目標と基本目標達成のための施策

### ■政策・施策の体系図

| 基本目標1 地域産業の育成により働く場を創出する 【しごと】                |                      |                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施策 1-1                                        | 地域資源を活かした観光の推進       | 1-1-1 観光を基軸とした地域づくり<br>1-1-2 「日本一の星空」スタービレッジ事業の推進<br>1-1-3 昼神温泉の魅力向上と発信<br>1-1-4 村内各地域の資源を活かした観光連携<br>1-1-5 環境に優しい観光地運営                 |
| 施策 1-2                                        | 次世代につなぐ農業            | 1-2-1 持続的な農業生産環境の形成<br>1-2-2 阿智の特性を生かした農産品のブランド化と販路の確保                                                                                  |
| 施策 1-3                                        | 地域のしごと               | 1-3-1 地域内経済循環の構築<br>1-3-2 将来につながる新たな産業基盤の形成<br>1-3-3 村内産業の育成としごとづくり                                                                     |
| 基本目標2 定住人口の維持や減少の緩和のため居住環境を充実させる 【ひとのなぐれ】     |                      |                                                                                                                                         |
| 施策 2-1                                        | 定住促進                 | 2-1-1 移住者増加に向けた体制づくり<br>2-1-2 移住者の居住環境充実に向けた支援<br>2-1-3 空き家の適正管理と活用促進<br>2-1-4 村営住宅の整備と運営<br>2-1-5 ふるさと交流事業の推進<br>2-1-6 地域おこし協力隊の継続的な確保 |
| 基本目標3 若者が希望をもって結婚、子育てできる村をめざす 【結婚子育ての切れ目ない支援】 |                      |                                                                                                                                         |
| 施策 3-1                                        | 結婚しやすい環境づくり          | 3-1-1 結婚支援の推進                                                                                                                           |
| 施策 3-2                                        | 子育てしやすい環境づくり         | 3-2-1 子育て支援の推進<br>3-2-2 保育環境の維持・充実<br>3-2-3 学童保育の推進<br>3-2-4 学習機会と情報の提供                                                                 |
| 施策 3-3                                        | 地域に根ざした質の高い教育の推進     | 3-3-1 地域に根ざした学校教育の推進<br>3-3-2 阿智高校の存続と発展                                                                                                |
| 基本目標4 各地域の特性を生かし、安心安全なふるさとづくりを目指す 【まちづくり】     |                      |                                                                                                                                         |
| 施策 4-1                                        | 安全・安心な暮らしを営める集落環境づくり | 4-1-1 公共交通利用環境の向上<br>4-1-2 災害に強い地域づくり<br>4-1-3 生活基盤の整備<br>4-1-4 健康づくりの推進<br>4-1-5 安心して暮らせる医療・福祉環境の構築                                    |
| 施策 4-2                                        | 循環型社会の構築             | 4-2-1 自然環境・生活環境の保全<br>4-2-2 森林整備と活用<br>4-2-3 再生可能エネルギーの導入とエネルギー自給                                                                       |
| 施策 4-3                                        | 自治と協働の村づくり           | 4-3-1 全村博物館の推進<br>4-3-2 地域づくりの推進<br>4-3-3 社会教育の推進                                                                                       |

## 1. しごと

### 基本目標 1 地域産業の育成により働く場を創出する

| 数値目標   | 基準値   |        | 目標値  |        |
|--------|-------|--------|------|--------|
| 農業生産額  | H27 年 | 8.8 億円 | R6 年 | 9 億円   |
| 製造品出荷額 | H30 年 | 170 億円 | R6 年 | 180 億円 |
| 商品販売額  | H26 年 | 40 億円  | R6 年 | 42 億円  |
| 観光消費額  | R 元年  | 57 億円  | R6 年 | 57 億円  |

#### 【基本的方向】

村外で暮らす阿智村出身者の中には「阿智村に戻りたいが、仕事がないから戻れない」と考えている人が少なくありません。一方、近年の傾向として、農山村のコミュニティの中で地域に関わる仕事がしたい、地域社会の役に立ちたいと考えている若者が増えています。そうした中では、既存産業の発展とともに農山村の特長を活かした新たなしごとをつくり出すことが重要です。

第 1 期では、観光面において「日本一の星空」を活用した観光による地域づくりなどを通じて地域のブランディングなどに取り組み、多くの誘客に繋げることができました。今後は、昼神温泉将来構想 2027 に沿った取り組みなどにより、引き続き阿智村の地域資源を活かした取り組みを推進します。

農業分野においては、移住者などの新規就農者に対する支援を行うとともに、村の特性を生かした農産品のブランド化や遊休農地の発生防止に向けて滞在型観光を意識した観光農園等についても研究を行い、次世代に農業をつないでいくための取り組みを推進します。

商業・工業分野では、関係機関との連携強化により村内消費の拡大、販路開拓のほか、創業支援や雇用の創出の取り組み等を進めます。また、南信州全体で取り組む研究開発を支援することで、新産業の育成を目指します。

## 【具体的施策】

### 施策 1 - 1

### 地域資源を活かした観光の推進

関連する  
SDGs の目標



| 施 策                                                                                                                                                           | KPI※1                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| <b>1-1-1 観光を基軸とした地域づくり</b><br>①DMO※2 登録した（株）阿智昼神観光局を中心として、観光による地域づくりを推進します。                                                                                   | ・スタービレッジ事業来場者数<br>・観光入り込み客 |
| <b>1-1-2 「日本一の星空」スタービレッジ事業の推進</b><br>①環境省認定の「日本一の星空」に着目した地域ブランドの構築と環境整備に取り組みます。<br>②星に関連する特産品の開発を進めます。                                                        |                            |
| <b>1-1-3 昼神温泉の魅力向上と発信</b><br>①「昼神温泉」ブランドの向上と観光客誘致の強化を図ります。<br>②昼神温泉将来構想 2027 に沿った魅力ある温泉郷づくりを進めます。<br>③前衛的なデータ分析・活用と情報発信に取り組みます。                               |                            |
| <b>1-1-4 村内各地域の資源を活かした観光連携</b><br>①地域の特色（歴史・文化等）や村内産業を資源と捉え、観光を軸とした連携の強化を図ります。<br>②阿智村ならではの魅力や体験の提供により特色ある着地型観光を推進します。<br>③産業振興公社と連携し、農観連携の推進とし仕組みづくりに取り組みます。 |                            |
| <b>1-1-5 環境に優しい観光地運営</b><br>①阿智村の観光資源である、美しい自然と環境を守るため、環境に優しい観光地運営に取り組みます。                                                                                    |                            |

| KPI           | 基準値 |          | 目標値 |          |
|---------------|-----|----------|-----|----------|
| スタービレッジ事業来場者数 | R元年 | 150,572人 | R6年 | 155,000人 |
| 観光入り込み客       | R元年 | 126万人    | R6年 | 126万人    |

※1 KPI：「重要業績評価指標」施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう

※2 DMO：「Destination Management Organization」の頭文字の略。観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を実施するための調整機能を備えた法人（観光地域づくり法人）



関連する  
SDGs の目標



| 施 策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | KPI                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1-2-1 持続的な農業生産環境の形成</b> <p>①担い手の育成をＪＡ、産業振興公社、行政が連携して推進します。</p> <p>②里親やＪＡが育成する研修生を確保し、農業従事者を維持します。</p> <p>③定年帰農者への研修などを通じて生きがい農家を育成します。</p> <p>④農家アドバイザーの設置により、高技術の普及を行います。</p> <p>⑤担い手への農地利用集積をすすめるとともに、新規就農者への定住支援を行います。</p> <p>⑥遊休農地の発生防止に努め、農業法人経営、滞在型農園を研究します。</p> <p>⑦推進品目の絞り込みを行い、新たな栽培システム※<sup>1</sup>を核としたアグロフォレストリー事業※<sup>2</sup>等により農業の振興を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村内の農業研修者数</li> <li>・ 新規就農者数</li> <li>・ 遊休農地解消面積</li> </ul> |
| <b>1-2-2 阿智の特性を生かした農産品のブランド化と販路の確保</b> <p>①村が推進する有機活用農業の根幹を支える畜産業の支援と、有機いきいき堆肥の原料確保に取り組み、有機活用農業の振興に取り組みます。</p> <p>②米など認証農産物のブランド化に取り組み、有利販売を図ります。</p> <p>③村の主要品目の販路開拓を推進します。</p> <p>④屋神温泉をはじめとする地域内での販路拡大と地消地産の仕組みづくりを推進します。</p>                                                                                                                                    |                                                                                                     |

| KPI       | 基準値  |          | 目標値      |          |
|-----------|------|----------|----------|----------|
| 村内の農業研修者数 | R元年度 | 3 人      | R2年度～6年度 | 8 人      |
| 新規就農者数    | R元年度 | 2 人      | R2年度～6年度 | 7 人      |
| 遊休農地解消面積  | R元年度 | 12, 722㎡ | R2年度～6年度 | 60, 000㎡ |

※<sup>1</sup> 新たな栽培システム：ハウス内で溶液土耕栽培や溶液培地栽培を ICT を活用して管理を行い、安定した品質と農作業の省力化を図る栽培システム

※<sup>2</sup> アグロフォレストリー事業：ハウスの加温を薪ボイラーによって行うことにより、二酸化炭素排出削減を図り、環境に優しい農業を、林業との連携で進める事業



関連する  
SDGs の目標



| 施 策                                                                                                                                                                                                                             | KPI                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1-3-1 地域内経済循環の構築</b><br>①商工業者への経営支援充実と意欲的な経営者の育成を行います。<br>②地域に根ざした商店街づくりと買物弱者支援を進め、地域内消費を推進します。<br>③観光客の村内消費の活性化を進めます。                                                                                                       |                                                                              |
| <b>1-3-2 将来につながる新たな産業基盤の形成</b><br>①南信州 14 市町村の協働により、工業技術センター及び EMC センターの試験、機能評価を強化し、飯伊地域の企業の新たな研究開発を支援します。また、信州大学航空機システム共同研究講座の運営を支援し、産業振興に寄与する知の拠点の形成を進めます。                                                                    | ・ 工業技術センター<br>EMCセンター施設利用件数<br>・ 信大航空機システム<br>共同研究講座学位<br>取得者における地<br>域内就職者数 |
| <b>1-3-3 村内産業の育成としごとづくり</b><br>①製造業等の販路拡大を支援します。<br>②新たな起業に取り組むグループ、個人を支援するとともに新たな企業誘致に取り組みます。<br>③地域の特性を活かした農産物の栽培を支援します。<br>④多くの特産物研究がなされるよう取り組みを進めていきます。<br>⑤地域の高齢者が働き続けられる仕事の創出に取り組みます。<br>⑥大都市圏から村内に移住するUIJターン者の就業等を支援します。 | ・ 村内企業従業員数<br>（工業統計調査）<br>・ 地元滞留率<br>・ 創業者数<br>・ UIJターン就業支援事業による移住者数         |

| KPI                             | 基準値          |       | 目標値           |      |
|---------------------------------|--------------|-------|---------------|------|
| 工業技術センター、EMCセンター施設利用件数          | H30年度        | 897人  | R6年度          | 900件 |
| 信大航空機システム共同研究講座学位取得者における地域内就職者数 | H27～<br>R元年度 | -     | R2年度～<br>R6年度 | 5人   |
| 村内企業従業員数（工業統計調査）                | H30年         | 972人  | R6年           | 980人 |
| 地元滞留率                           | H31年         | 10.9% | R6年           | 11%  |
| 創業者数                            | H27～<br>R元年度 | 3人    | R2年度～<br>R6年度 | 5人   |
| UIJターン就業・創業移住支援事業による移住者数        | R元年度         | 0人    | R2年度～<br>R6年度 | 10人  |

## 2. ひとのながれ

### 基本目標 2 定住人口の維持や減少の緩和のため居住環境を充実させます。

| 数値目標             | 基準値            |         | 目標値  |         |
|------------------|----------------|---------|------|---------|
| 将来人口             | H31 年          | 6,150 人 | R6 年 | 5,740 人 |
| 社会動態（転入）         | H27～R 元年転入者平均値 | 192 人   | R6 年 | 210 人   |
| 定住支援センターが関わる移住者数 | H27～H30 移住者平均値 | 45 人    | R6 年 | 69 人    |

#### 【基本的方向】

定住を促進するうえで、暮らしの基盤となる「住まい」の確保は必要不可欠であり、村営住宅、宅地、空き家の確保など居住環境を整備することが重要となります。

第 1 期計画策定後の平成 27 年度～平成 30 年度の 4 年間で、定住支援センターが関わった移住者数は、180 人にのぼります。

また、空き家の活用についても地域における取組みもあり、利活用が進むなど、第 1 期では一定程度の成果がみられました。

今後は、更なる移住者の増加に向けて、対外的な PR の展開や、都市圏におけるネットワークの構築、村の良さを理解してもらうための相談会や移住体験ツアーなどを行います。また、関係人口※の拡大を定住に結びつけるような取組みも大切です。

移住者の居住環境の充実に向けては、村営住宅の建設に加え、民間企業との連携による居住の受け皿づくりを図ります。

これまでも村で受け入れてきた「地域おこし協力隊」については、引き続き活躍の機会の提供に努め、受け入れ先や地元との連携強化を図ります。

上記の取組みを推進し、従来の阿智村にない新しい価値観を持つ人々を受け入れることにより、阿智村の魅力をさらに発展させることを目指します。

※ 関係人口：「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

## 【具体的施策】

### 施策 2 - 1

### 定住促進

関連する  
SDGs の目標



| 施 策                                                                                                                                                                                                                                                      | KPI           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <b>2-1-1 移住者増加に向けた体制づくり</b><br>①移住希望者(UIJターン者)への積極的な支援を行うとともに、定住におけるワンストップサービス化を進めます。<br>②地域での定住促進の取り組みや定住支援センターをサポートする定住支援員設置を継続します。<br>③阿智家族ウェブサイトの充実と情報発信を継続します。<br>④移住定住希望者を対象とし、村内各所を回るツアーを実施します。<br>⑤関係人口の拡大に向け、大学や外部研究者等との交流連携や住民活動に役立つ取り組みを進めます。 | ・ 移住相談件数      |
| <b>2-1-2 移住者の居住環境充実にに向けた支援</b><br>①定住促進住宅の建設を検討します。<br>②分譲住宅地の確保、未契約の分譲地の販売促進を図ります。<br>③定住促進のための住宅新增改築等支援金の交付を継続します。<br>④民間企業や個人が建築する1棟4戸以上の住宅建設費に対し、補助金を交付し住宅建設を促進します。                                                                                  | ・ 空き家利活用件数    |
| <b>2-1-3 空き家の適正管理と活用促進</b><br>①空き家の再調査、情報収集を継続し、空き家の有効活用を促進します。<br>②民間事業者との連携を継続し空き家の取引を円滑に進めます。<br>③空き家等対策協議会等により、特定空き家対策を推進します。                                                                                                                        |               |
| <b>2-1-4 村営住宅の整備と運営</b><br>①計画的な環境整備、リフォーム、建替え、解体、払い下げを実施します。                                                                                                                                                                                            |               |
| <b>2-1-5 ふるさと交流事業の推進</b><br>①友好関係市町村やふるさと大使、阿智村人会、関係団体との連携を深めます。                                                                                                                                                                                         |               |
| <b>2-1-6 地域おこし協力隊の継続的な確保</b><br>①地域おこし協力隊を継続採用していきます。                                                                                                                                                                                                    | ・ 地域おこし協力隊採用数 |

| KPI         | 基準値      |      | 目標値     |      |
|-------------|----------|------|---------|------|
| 移住相談件数      | H30年度    | 124件 | R6年度    | 150件 |
| 空き家利活用件数    | H27～R元年度 | 52件  | R2～R6年度 | 100件 |
| 地域おこし協力隊採用数 | H27～R元年度 | 8人   | R2～R6年度 | 8人   |

### 3. 結婚・子育ての切れ目ない支援

#### 基本目標3 若者が希望をもって結婚、子育てできる村をめざす

| 数値目標    | 基準値   |        | 目標値  |     |
|---------|-------|--------|------|-----|
| 合計特殊出生率 | H30 年 | 1.41 人 | R6 年 | 1.7 |

#### 【基本的方向】

近年、若者の価値観は、多様化してきており、「若者実態調査」からは、自然豊かな農村で子育てをしたい、故郷阿智村に帰って子育てをしたいと思っている若者も多く見られました。

第1期では、数値目標として合計特殊出生率の目標値を1.9としましたが、平成30年度の合計特殊出生率は1.41となり、平成26年の基準値を下回ってしまいました。少子化は、様々な要因があることが想定され、施策の効果が発現するまでには時間を要しますが、平成31年に開設された「子育て支援包括支援センター あちっ子プラザ」を中心とした親世代への教育的支援の充実やサポート体制の確立により、今後も子どもを産み育てやすい環境づくりを進めます。

村の生涯未婚率※は男性で19.9%、女性で8.5%であり、（国：男性：23.37%、女性：14.06%）（県：男性：22.88%、女性：11.21%）男女とも国及び県の数値よりも低くなっています。

しかしながら、未婚率は増加傾向にあることから、官民連携により、相談窓口の設置やイベント開催支援を通じて、結婚しやすい環境づくりを進めます。

学校教育に関しては、リニア中央新幹線の開通を見据え、多様な学習機会の創設や施設の整備を推進します。また、地域に根差した教育の推進により、村の次世代を担う若者の育成に努めます。

以上のような実態を踏まえ、若者が「阿智村で結婚したい」「阿智村で子育てしたい」「阿智村でもう一人産みたい」と思える村づくりを進めます。

※ 生涯未婚率：（50歳時の未婚率であり、45～49歳と50～54歳の未婚率の単純平均により算出）

## 【具体的施策】

### 施策 3-1

### 結婚しやすい環境づくり

関連する  
SDGsの目標



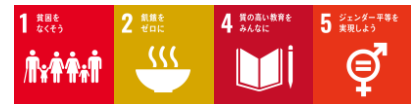
| 施策                                                                        | KPI         |
|---------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <b>3-1-1 結婚支援の推進</b><br>①多様なニーズに応える結婚支援体制を構築します。<br>②婚活や結婚に対する地域の理解を深めます。 | ・村内在住者の結婚人数 |

| KPI        | 基準値  |     | 目標値  |     |
|------------|------|-----|------|-----|
| 村内在住者の結婚人数 | R元年度 | 42人 | R6年度 | 42人 |



日本一の星空ナイトツアー

関連する  
SDGs の目標



| 施策                                                                                                                                                                                                                                                                        | KPI                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| <b>3-2-1 子育て支援の推進</b><br>①健全な妊娠出産のため、思春期からの性教育を充実させます。<br>②子育て支援給付事業を拡充します。<br>③子どもを望む夫婦を支援します。不妊治療費用を助成します。<br>④妊娠期を健やかに過ごすために支援します。<br>⑤子育て世代包括支援センター「あちっ子プラザ」における支援事業を展開します。<br>⑥保育サポーター等、身近な子育て支援者を増やせるように努めます。地域住民を対象に学習会や講演会の企画、祖父母の孫育てを支援します。                      | ・ 地域子育て支援拠点事業拠点施設数       |
| <b>3-2-2 保育環境の維持・充実</b><br>①6園体制を維持します。<br>②各保育園を各地域の子育て拠点と位置付けます。<br>③各園に園長を配置するなどの組織の充実を図ります。<br>④保育園の計画的な整備を行います。<br>⑤未満児保育、延長保育を充実します。                                                                                                                                | ・ 居住している地域の保育園の満足度       |
| <b>3-2-3 学童保育の推進</b><br>①全小学校区で学童保育事業を継続するために、学童保育支援員の確保と資質向上に努めます。                                                                                                                                                                                                       | ・ 放課後児童健全育成事業(学童保育)待機児童数 |
| <b>3-2-4 学習機会と情報の提供</b><br>①子どもを持つことの喜びと責任を学べる両親学級を開催します。<br>②親への教育的支援を充実させることで、育児力の向上を図ります。<br>③乳幼児の健康な発育発達を支援します。<br>④あち子育てサイトを有効利用し、メール相談、休日、夜間相談窓口を設置し、手軽に村の子育て情報が得られ、気軽に相談できる仕組みをつくれます。<br>⑤妊娠、出産、子育て期の切れ目ない食育を推進します。<br>⑥「あちっ子ライフ」事業による基本的生活習慣の確立を保育園・学校と連携して継続します。 | ・ 1, 2歳児の年齢別教室の参加者数      |

| KPI                    | 基準値   |      | 目標値  |      |
|------------------------|-------|------|------|------|
| 地域子育て支援拠点事業拠点施設数       | R 元年度 | 1 力所 | R6年度 | 2力所  |
| 居住している地域の保育園の満足度       | R 元年度 | 77%  | R6年度 | 85%  |
| 放課後児童健全育成事業（学童保育待機児童数） | R 元年度 | 10人  | R6年度 | 0人   |
| 1, 2歳児の年齢別教室の参加者数      | R 元年度 | 184人 | R6年度 | 200人 |



関 連 す る  
SDGs の目標



| 施 策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | KPI                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| <b>3-3-1 地域に根ざした学校教育の推進</b> <p>①5小学校体制を基本としながら、より良い教育環境の研究に努めます。</p> <p>②複式解消、少人数学習・習熟度別学習のための教員を配置します。</p> <p>③教科指導や特別支援教育等を支援するための各種専門主事、支援員の配置に努めます。</p> <p>④保育園から小学校、中学校までの12年間を通じた英語教育の充実を図ります。</p> <p>⑤学校運営協議会制度の活性化により、学校運営の充実を図ります。</p> <p>⑥各学校の実情に合わせた社会性の伸長や学力の向上等に取り組みます。</p> <p>⑦小学校高学年の放課後学習教室から中学校若駒アカデミーまでの学習支援体制を確立します。</p> <p>⑧老朽化した施設設備を改修・整備し、時代に適合したよりよい教育環境づくりを目指します。</p> <p>⑨文部科学省「GIGAスクール構想の実現について」を踏まえたICT教育推進のための環境整備を図ります。</p> <p>⑩不登校児童・生徒のための教育支援センターを充実します。</p> <p>⑪小中学校9年間と各小学校を接続する「ふるさと学習」を推進します。</p> | <p>・全国学力・学習状況調査 学力テスト 結果(小学校)</p> <p>・全国学力・学習状況調査 学力テスト 結果(中学校)</p> |
| <b>3-3-2 阿智高校の存続と発展</b> <p>①阿智高校神坂学習塾を支援します。</p> <p>②阿智高校と連携し地域におけるキャリア教育を推進します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>・阿智高校地域政策コース 地域と連携した年間授業時間数</p>                                  |

| KPI                           | 基準値  |                       | 目標値  |         |
|-------------------------------|------|-----------------------|------|---------|
| 全国学力テスト（国語・算数）平均正答率(小学校)      | R元年度 | 全国平均値以上               | R6年度 | 全国平均値以上 |
| 全国学力テスト（国語・数学）平均正答率(中学校)      | R元年度 | 全国平均値以下               | R6年度 | 全国平均値以上 |
| 阿智高校地域政策コース<br>地域と連携した年間授業時間数 | R元年度 | 105時間(2年)<br>70時間(3年) | R6年度 | 現状維持    |



## 4. まちづくり

### 基本目標 4 各地域の特性を生かし、安心安全なふるさとづくりを目指す

| 数値目標              | 基準値   |       | 目標値  |     |
|-------------------|-------|-------|------|-----|
| 生産年齢人口割合（15～65 歳） | H30 年 | 52.7% | R6 年 | 53% |

#### 【基本的方向】

阿智村で暮らし続けるためには、誰もが安心して生活できる環境づくりが重要です。また、地域における人と人とのつながりづくりは、幸せに暮らすために欠かすことができません。

集落の維持と暮らし分野では、公共交通の運行形態の見直しに向けた調査や、安定的な水資源の供給に向けてアセットマネジメント・経営戦略の策定、保健師の安定的な確保による保健指導、高齢者の見守りネットワークなどに取り組んできました。今後についても、住民のニーズを踏まえた利用しやすい公共交通の仕組みづくり、災害に強い地域コミュニティの育成、情報インフラの充実、住民の健康づくりに対する意識啓発、地域包括ケアシステムの充実等に向けて取り組みます。

環境・エネルギー分野では、住民の環境保全への意識を高め、自然環境の保全や省資源・省エネルギーの推進に取り組んできました。今後については、地域おこし協力隊との連携も視野に、森林整備と資源の利活用による産業の活性化を目指します。

自治と協働の村づくり分野では、引き続き、全村博物館の展開や村づくり委員会によるまちづくり活動への支援、社会教育環境の充実に向けた支援を行います。

## 【具体的施策】

### 施策 4-1

### 安全・安心な暮らしを営める集落環境づくり

関連する  
SDGsの目標



| 施策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | KPI       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>4-1-1 公共交通利用環境の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通に対する地域ごとの住民ニーズを把握し運行改善につなげます。</li> <li>②広域交通網実現のため、近隣市町村と連携し取り組みます。</li> <li>③観光振興組織との連携による、公共交通の充実に努めます。</li> <li>④医療機関への交通確保に努めます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                  | ・公共交通利用者数 |
| <b>4-1-2 災害に強い地域づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域防災力の向上のためハザードマップを基に地区防災マップ作成を支援します。</li> <li>②防災・減災のための計画づくりを進めます。</li> <li>③消防団組織の体制強化、活動内容のあり方研究に取り組みます。</li> <li>④防災無線の安定化を図ります。</li> <li>⑤様々な自然災害等に対応するため、避難所の機能強化を進めます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                             |           |
| <b>4-1-3 生活基盤の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①道路の安全性に重点をおき維持修繕工事を推進します。</li> <li>②橋梁長寿命化修繕計画により安全性を最優先に修繕を進めます。</li> <li>③水源、施設の整備、維持管理を行い、安全な水道水の安定供給、安定的な水質での排出を目指します。</li> <li>④未水洗化世帯に水洗化の普及促進を図り、普及率、接続率の向上を目指します。</li> <li>⑤住民交流の活性化と交流人口の増を図るためICTを活用した広報誌やホームページの改善を行います。</li> <li>⑥CATV網や補完局等を利用したラジオ難聴地域の解消等、多様な情報の提供に取り組みます。</li> <li>⑦交通死亡事故ゼロをめざし、交通安全運動を実施します。</li> <li>⑧運動公園の再整備により、村民の全ての世代が集い、運動や体力づくり、遊びや自然体験、交流や活動の場として活用できる癒しの空間を創造します。</li> </ul> | ・水洗化率     |
| <b>4-1-4 健康づくりの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域での健康づくりを支援します。「あち健康プラン21」を推進し、住民の健康づくりに関する意識向上に努めます。</li> <li>②健診受診の定着により、脳卒中予防や生活習慣病の改善に取り組みます。</li> <li>③がん検診受診を勧め、早期発見・早期治療につなげます。</li> <li>④食による健康づくりを推進します。</li> <li>⑤心の病気がある人もいきいきと暮らせる環境づくりをします。</li> <li>⑥飯田下伊那診療連携システムを推進し中核病院との連携をはかります。</li> </ul>                                                                                                                                                         | ・特定健診受診率  |

| 施策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | KPI                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>4-1-5 安心して暮らせる医療・福祉環境の構築</b> <p>①地域包括ケアシステムを構築します。</p> <p>②生きがい講座やサロンなどの居場所や交流の場の整備により高齢者の社会参加を促すとともに、介護予防に取り組めます。</p> <p>③様々な主体による見守りや支え合いの取り組みを支援し、見守りや支え合いの仕組みづくりの構築を目指します。</p> <p>④自分らしく安心して住み続けられる住まいを目指します。</p> <p>⑤安心して在宅で医療を受けられる環境を整備するとともに、医療と介護の連携を図るための仕組みづくりを目指します。</p> <p>⑥認知症になっても暮らし続けられる地域づくり、認知症予防を推進します。</p> <p>⑦障がい者の社会参加、生きがいづくりを推進します。</p> | <p>・ふれあいサロン実施団体</p> <p>・おたっしやかい利用実人数</p> |

| KPI          | 基準値   |          | 目標値  |          |
|--------------|-------|----------|------|----------|
| 公共交通利用者数     | H30年度 | 260,926人 | R6年度 | 260,000人 |
| 水洗化率         | R元年度  | 95%      | R6年度 | 97%      |
| 特定健診受診率      | H30年度 | 43.6%    | R6年度 | 60%      |
| ふれあいサロン実施団体  | R元年度  | 49団体     | R6年度 | 50団体     |
| おたっしやかい利用実人数 | R元年度  | 56人      | R6年度 | 65人      |



60周年記念事業 全国ラジオ体操

関連する  
SDGs の目標



| 施策                                                                                                                                                                                                          | KPI                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| <b>4-2-1 自然環境・生活環境の保全</b><br>①条例等の整備により、水資源、自然環境等の保護を図ります。<br>②ごみの不法投棄対策を行います。<br>③環境学習の推進等により、地球環境に対する意識の啓発・高揚に取り組めます。                                                                                     | ・ 一人一日あたりのごみ排出量          |
| <b>4-2-2 森林整備と活用</b><br>①計画的な森林整備を推進します。<br>②多様な用途への森林資源の利用と地域内の資源循環の推進や仕組みづくりに取り組めます。<br>③路網を始めとする基盤の強化を図り、木材搬出、山林管理のコスト軽減に取り組めます。<br>④農林業に大きな被害を与えているサルをはじめとした獣害対策を強化します。<br>⑤林業関係団体の育成を支援し、関係者の裾野を拡大します。 | ・ 木材搬出量<br>・ 鳥獣による農林業被害額 |
| <b>4-2-3 再生可能エネルギーの導入とエネルギー自給</b><br>①家庭や事業所等へ再生可能エネルギー設備導入への支援を行いエネルギーの自給確保を推進します。                                                                                                                         | ・ 住宅等の再生可能エネルギー設備導入件数    |

| KPI                                 | 基準値          |         | 目標値         |         |
|-------------------------------------|--------------|---------|-------------|---------|
| 木材搬出量                               | H30年度        | 2,057m³ | R6年度        | 3,000m³ |
| 鳥獣による農林業被害額                         | H30年度        | 2,063千円 | R6年度        | 1,000千円 |
| 住宅等の再生可能エネルギー設備導入件数<br>(補助金による支援件数) | H27～<br>R元年度 | 80件     | R2～<br>R6年度 | 80件     |
| 阿智村一人一日あたりのごみ排出量                    | H30年度        | 833g    | R6年度        | 816g    |

関連する  
SDGs の目標

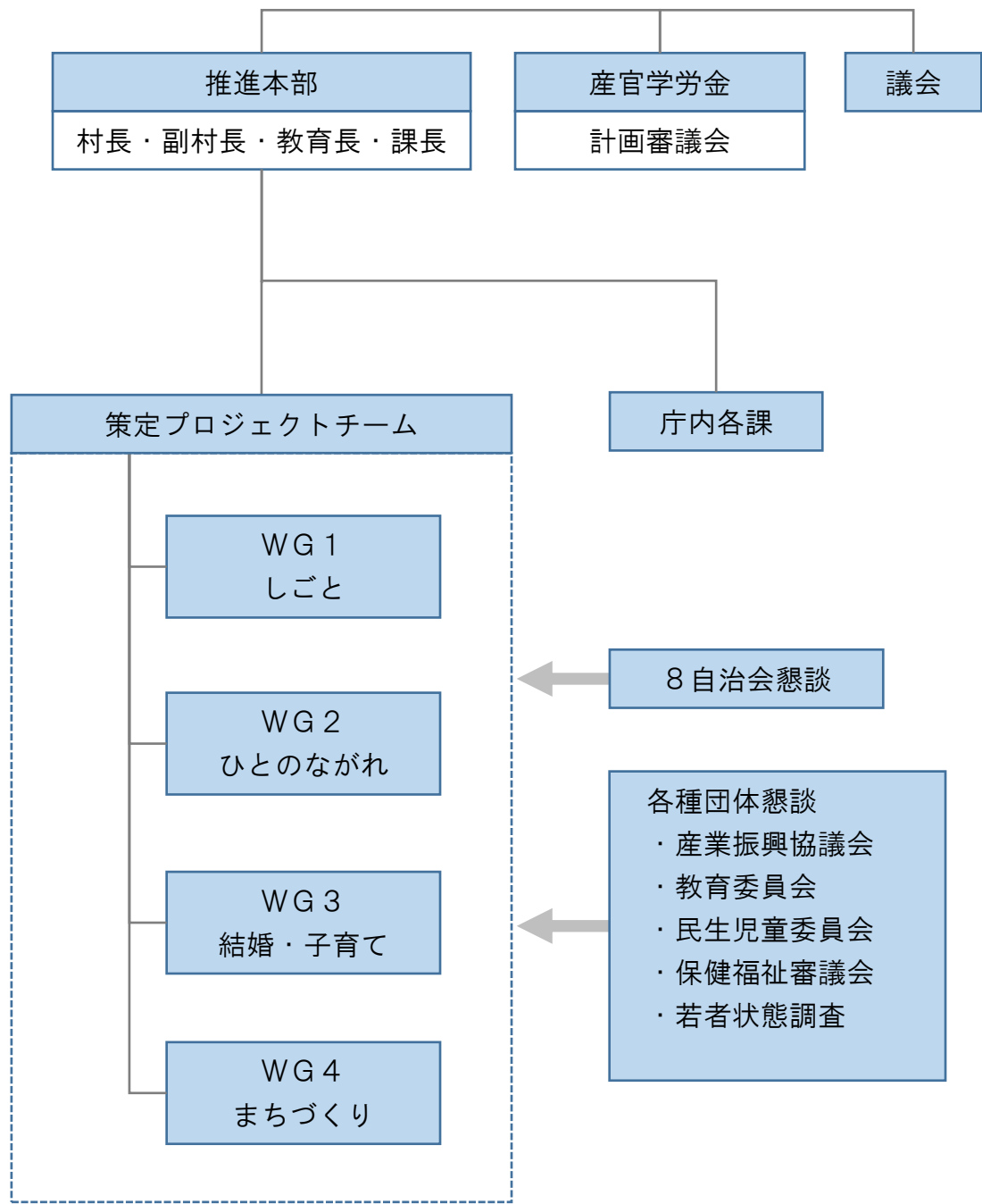


| 施策                                                                                                                                                                                                                                                                                                | KPI                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4-3-1 全村博物館構想の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①住民の学習要求に基づいて地域資源に関する学習や活用に様々な切り口から取り組み、持続可能な地域を目指します。</li> <li>②学校教育や研究者と連携し、地域資源を次世代へ継承します。</li> <li>③村内外へ情報を発信し、活動を共有するとともに阿智村への誘客を図ります。</li> <li>④地域づくりと結びつけた、住民と協働する文化財保護を目指します。</li> <li>⑤農村記録写真の保存・展示環境の整備を行います。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定地域資源数</li> </ul>                          |
| <b>4-3-2 地域づくりの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自治会活動をより活発にし、住民主体の村づくりを進めるための支援を継続します。</li> <li>②集落支援員の設置を継続し、地域の課題解決や集落の維持、地域活性化を推進します。</li> <li>③住民の自主的な取り組みを支える村づくり団体（村づくり委員会）への支援を継続し協働の取り組みを進めます。</li> <li>④振興室を存続し、自治会や振興協議会と協働して地域振興に向けた取り組みを推進します。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落支援員の配置</li> <li>・ 村づくり委員会活動団体数</li> </ul> |
| <b>4-3-3 社会教育の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地区公民館における地域学習、様々な分野における自主的な学習、社会教育研究集会を軸とした系統的な学習を通し、住民主体の活動を支援します。</li> <li>②読書活動を推進し、読書および図書館活動の充実を進めます。</li> <li>③社会体育施設の充実と社会体育の振興をはかります。</li> <li>④体育団体の活動、チャレンジゆうAchiの自立を支援します。</li> </ul>                                     |                                                                                      |

| KPI              | 基準値      |      | 目標値     |     |
|------------------|----------|------|---------|-----|
| 認定地域資源新規登録数      | H27～R元年度 | 55件  | R2～R6年度 | 45件 |
| 集落支援員の配置         | R元年度     | 4人   | R6年度    | 5人  |
| 村づくり委員会活動団体新規登録数 | H27～R元年度 | 15団体 | R2～R6年度 | 5団体 |

# 第4章 計画の推進に向けて

## 1. 策定体制



## 2. 推進・検証体制

本計画の施策、・事業の憲章は計画審議会、議会とともに検証し、必要な改善などを行います。



## 【資料】SDG s の 17 のゴール（目標）

| 番号                                                                                                              | 目標                                                                                                | 番号                                                                                                               | 目標                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>1 貧困をなくそう</b>              | <b>【貧困】 貧困をなくそう</b><br>あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。                                                     |  <b>10 人や国の不平等をなくそう</b>         | <b>【不平等】 人や国の不平等をなくそう</b><br>国内及び各国家間の不平等を是正する。                                                             |
|  <b>2 飢餓をゼロに</b>               | <b>【飢餓】 飢餓をゼロに</b><br>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。                                     |  <b>11 住み続けられるまちづくりを</b>        | <b>【持続可能な都市】 住み続けられるまちづくりを</b><br>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。                                    |
|  <b>3 すべての人に健康と福祉を</b>         | <b>【保健】 すべての人に健康と福祉を</b><br>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。                                     |  <b>12 つくる責任 つかう責任</b>          | <b>【持続可能な消費と生産】 つくる責任 つかう責任</b><br>持続可能な消費生産形態を確保する。                                                        |
|  <b>4 質の高い教育をみんなに</b>          | <b>【教育】 質の高い教育をみんなに</b><br>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。                                 |  <b>13 気候変動に具体的な対策を</b>         | <b>【気候変動】 気候変動に具体的な対策を</b><br>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。                                                   |
|  <b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b>       | <b>【ジェンダー】 ジェンダー平等を実現しよう</b><br>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。                                   |  <b>14 海の豊かさを守ろう</b>           | <b>【海洋資源】 海の豊かさを守ろう</b><br>持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。                                             |
|  <b>6 安全な水とトイレを世界中に</b>      | <b>【水・衛生】 安全な水とトイレを世界中に</b><br>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。                                    |  <b>15 陸の豊かさを守ろう</b>          | <b>【陸上資源】 陸の豊かさを守ろう</b><br>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。         |
|  <b>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b> | <b>【エネルギー】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b><br>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。                  |  <b>16 平和と公正をすべての人に</b>       | <b>【平和】 平和と公正をすべての人に</b><br>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。 |
|  <b>8 働きがいも経済成長も</b>         | <b>【経済成長と雇用】 働きがいも経済成長も</b><br>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。 |  <b>17 パートナリーシップで目標を達成しよう</b> | <b>【実施手段】 パートナリーシップで目標を実現しよう</b><br>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。                               |
|  <b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b>    | <b>【インフラ、産業化、イノベーション】 産業と技術革新の基盤をつくろう</b><br>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。   |                               |                                                                                                             |







# 星ふるさと 阿智村

～日本一の星空と花桃といで湯の郷～

---

まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略（第 2 期計画）

令和 2 年 3 月

発 行 阿智村  
編 集 阿智村総務課  
〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場 483  
TEL 0265-43-2220(代) FAX 0265-43-3940(代)

---